工事概要

工事名称	東予高校創立５０周年記念会館新築工事	
建築主	住所	〒799-1371 愛媛県西条市周布650番地
	氏名	東予高校創立50周年記念事業期成会　会長　城戸一也
建築場所	所在地	愛媛県西条市周布650番地他
	用途地域	区域区分未設定
	防火地域	指定無し
	その他の地区	特定用途制限地域 （田園居住地区一部幹線道路沿線地区）
	日影規制	
主要用途		記念会館
工期		着工 平成 24 年 5 月 日 ～ 竣工 平成 24年 8月 日
構造規模	構造	S　RC　SRC　(W)
	工事種別	(新築)　増築　改築
	階数	地下　階・地上 1 階・PH階　階
	敷地面積	48,840.11 ㎡ （ 14,774.13 坪）
	建築面積	96.67 ㎡ （ 29.24 坪）

延床面積	階	本体 ㎡	㎡	㎡	計 ㎡
	1 階	93.02			93.02
	階				
	階				
	階				
	階				
	階				
	階				
	計	93.02			93.02

工事範囲

工事項目	1. 建築
別途工事	1. 電気
	2. 衛生
	3. 空調・換気
	4. 汚水処理
	5. 外構
	6. 家具工事（但し図示造付家具は本工事）
	7. 家電製品(TV. 冷蔵庫. 掃除機. 洗濯機等)
	8. 書籍.ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ機器類
	9. 警備保障設備(但し、下地配管は本工事に含む。)
	10. 送迎用車輌
	11. ﾌﾟﾛﾊﾟﾝﾎﾞﾝﾍﾞ、灯油類の燃料類一切
	12. 各種設備負担金
	13. 諸官庁申請手数料他(浄化槽申請料. 建築確認申請料他)
	14. 机等什器備品類

一般事項

適用範囲　本仕様書は、下記工事に適用する。

標準仕様書　本特記仕様書及び設計図書に記載なき仕様は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修各共通仕様書に準ずる。設計図書の内容に相違がある場合は優先順位を次の通りとし工事の内用に応じて適用する。

1．現場説明事項．質疑応答書
2．特記仕様書
3．設　計　図
4．標準仕様書．営繕部監修共通仕様書
5．日本建築学会標準仕様書
6．公共規格

建築材料等　建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの、又は同等以上とする。ただし、同等以上とする場合は監督員の承諾を受ける。

技能士　下記の工事の内○印のついたもの及び監督員の指示するものを適用する。

⊙鉄筋工事　⊙コンクリート工事（１級型枠等）
・鉄骨工事・ブロック及びALCパネル工事
⊙防水工事・石工事　・タイル工事　⊙木工事
⊙屋根及びとい工事　⊙左官工事　⊙塗装工事
⊙建具工事　⊙内装工事　・植栽工事

特別な材料の工法　標準仕様書に記載されていない特別な材料などの工法は、当該製品の指定工法による。ただし資料を提出し監督員の承諾を受ける。

疑義　本工事の設計図書に関する疑義は工事入札前に、質疑応答をもって確かめておかなければならない。質疑応答に漏れたものは、係員の指示に従い施工する。又図面間もしくは図面と仕様書が相違する場合や、明記のない場合、または疑義を生じた場合は、すべて係員の指示による。尚、設計図書に明記なくとも、機能上、構造上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い本工事請負金の内で施工しなければならない。

官庁手続　本工事は、危険物取締条例およびその他官公署規程に準拠し必要な設備を完備する事。又本工事に関連する官公署への手続きは迅速に処理しこの経費は一切請負者の負担とする。

近隣との調整　請負者は、下記各項に関してあらかじめ詳細な調査研究を行い、事故あるいは紛争をひき起さぬよう充分な対策を立案し係員の承認を得て遺漏なくこれを実施しなければならない。

・近隣および周辺道路の占用、管理危険防止およびこれらに関連して生ずる紛争の処理、損害補償に関する事項

・夜間作業に伴なう同上の問題

設計書　設計書は見積の参考として添付したもので見積に際し、充分調査の上各自の責任において建築完成までの施工見積を行うものとする。

軽微な変更　現場の納まり取合等の関係で材料の寸法取付位置、又は取付工法を多少変更し、或いはこれによって取付員数を幾分増減する等の軽微な変更は、係員の指示によって行う。この場合の請負金額は増額しない。

別途工事への協力　別途工事については関係者は事前に協議の上、遺感のない様円満進捗を計る。別途工事の施工に際しては、建築主体工事請負者は足場及設備の利用、貫通孔の設備及ボールト木煉瓦並インサート等の取付に協力し施工に便宜を与えなければならない。

跡片付損傷復旧　工事完了の後は、仮設物を速やかに取払い、跡片付け及び清掃を行う。工事中に損傷を生じた物件は、速やかに復旧する。（周囲道路、隣接地、片付共。）

諸官庁申請用書類　諸官庁申請用書類については、着工、中間、竣工書類等係員の指示に従い、必要部数作成し提出する。又、工事期間中においても各資材、日報、工事写真等の整理を常に行う他、係員の指示に従い作成する。

工事・工程管理

現場代理人及主任技術者　工事請負者は、本工事の履行に関しその工事現場を代表する者として現場代理人をおくものとする。又、工事の施工技術を確保するため、有資格の主任(監理)技術者をおくものとする。着工前に現場代理人及主任技術者の氏名、年令資格、経歴及び担当業務内容等を明記した人員構成及び経歴書を係員に提出し、その承認を受けること。発注者及設計、監理事務所はその職務に不適当と認める場合は、更迭を求めることがある。各主任技術者及び現場代理人は、善良なる管理者として仕事に従事し設計図書に基づき係員の指示に従い、完全かつ安全に全工事を施工する。

その他、各技術担当者も現場に常駐して工事に専従するものとし、各々業種毎に同等工事の業務経験者を選任すること。

工事現場管理　工事現場においては、関係者全員が事故防止に努め常に場内整理を行う。特に汚染または、損傷のおそれのある材料及び既成部分や隣家施設には充分な養生を行う他、工事上発生した解体材その他の発生材は、請負業者の責任において速やかに適当な方法で処分する。

現場打合せ　工事の円滑な進捗を計るため下記の要領で定例打合せ会議を行う。

1．打合せ会議
　1)総合打合せ会議　毎月１回（指定日）
　2)定例打合せ会議　7～10日毎に１回（指定日）
　3)臨時打合せ会議　その他 必要に応じて

2．出席者
　1)総合打合せ会議
　・発注者　担当係員
　・設計事務所　設計及監理担当者
　・請負業者　現場代理人及主任技術者
　（建築・電気・設備担当者）
　主要工程下請責任者

　2)定例打合せ会議
　・設計事務所　監理担当者
　・請負業者　現場代理人及主任技術者
　（建築・電気・設備担当者）
　主要工程下請責任者

　3)打合せ事項
　打合せ要領書に基づき、工事工程・工法・資材選定・色彩決定・施工図・承認図・製作図・並追加変更工事等、全般についての諸問題点を協議し、決定する。

記録　打合せ内容は、現場代理人が記録し、各出席者の承認印を得て関係者に配布する。

安全会議　本工事請負者は、工事関係者により安全推進委員会を組織し、安全大会・委員会を開催し協議を行い、安全・事故防止等に対処しなければならない。

現場表示（看板類）　請負業者は、本工事期間中最も効果のあがる場所に下記の表示を行う。

・許認可表示
　確認許可　、　許認可表示

・立看板、貼紙等
　労働災害、火災等予想し得る事故の予防を促す目的の表示。

・看板
　係員の指示により設計監理事務所及、工事看板を設けると共に本工事の責任の所在を明記するために、請負業者の看板を揚げる事。
　（工期表示等）

届出書類　工事請負者は、係員の承認等を必要とする事項に関する書類を、下記の要領で係員に提出し承認を得る。

（A）契約後二週間以内に提出する書類。

名称	部数	備考
１工事着工届	2	
２命令系統表	2	
３現場代理人届	2	
４主任技術者届	2	
５下請業者採用承認願	2	
６主要資材選定承認願	2	
７工事工程表	2	
８工事内訳明細書	2	
９仮設計画図	2	
10配置計画図	2	敷地測量図共

※ ・2～9については、事前に原稿にて打合せること。
・工事着手時、下記の図書を提出すること
設計図製本　2つ折製本　2 部

備考

一級建築士事務所
有限会社 一城企画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３
担当者
平成 24 年 7 月

工事名 東予高校５０周年記念会館新築工事設計図
図面名 特記仕様書　（一般事項－１）
縮尺
図面No. A-01

(B) 工事中に提出する書類

名　　称	部　類	備　　考
１質疑応答書	２	
２工事日報	２	
３工事写真	２	指示部数
４工事進捗状況報告書	２	
５工事出来高報告書	２	
６承認図	２	請負業者分含まず。
７見本品	１	
８各種試験成績書	２	
９施工図	２	
10製作図	２	
11各種工程検査願書	２	

(C) 施工本検査及び引渡しの際必要とする書類

名　　称	部　類	備　　考
１竣工検査願	２	
２竣工（完成）届	２	
３引渡書	２	
４目録書	２	
５竣工図	３	金文字Ａ４版製本 黒表紙×1部
（出来形図面、保存図面）		A3版 2つ折製本×2部
６完成写真	２	提出内訳は別記による。
７各種検査測定成績表	２	
８各種検査済証	２	
９施工図	２	製本（２っ折）
10工程表	２	
11鍵	一式	（Box及一覧表共）
12備品	一式	（リスト共）
13保証書	２	
14連絡先一覧表	２	
（工事業者・材料資材）		
15機器取扱説明書	２	
16各種検針数量値	２	

・上記提出書類のうち諸官庁指定書式がある場合は指定書式とする。

・竣工図は、設計図を流用して指示に従い作成の事
（但し、設計図流用図は全て第２原図として別に提出の事）

工事工程表

工事着工に先立ち下記工程表を提出し、係員の承認を受ける。

１総合工程表	全工事着工前に提出する。全工事期間の工程計画を把握できるもの。
２月間工程表	各月の工程を調整した詳細工程表。（各月末までに、次月の工程を提出する。）
３各工事詳細工程表	各工事毎に詳細な工程（必要ある場合）

やむを得ない理由で工程の変更を行いたい場合は、あらかじめ、他関連工事との調整を計った後、その内容と理由を係員に申し出て、承認を得ること。

施工計画書及び施工図

工事請負者は、施工方法を設計図書に基き、充分に検討を行い、各工事着手前に施工計画書及施工図を下記の要領で作成し、係員の承認を受ける。

・建築工事

名　　称	備　　考
１仮設計画書及施工図	
２土工事計画書及施工図	
３基礎工事計画書及施工図	
４鉄骨工事計画書及施工図	スリーブ位置及開口補強共
５コンクリート躯体施工図	
６コンクリート打設計画書及計画図	配合計画、運搬計画共
７防水屋根工事計画書及施工図	係員の指示による。
８タイル石工事、施工図	
９金物工事施工図	
10建具工事施工図	
11内装工事施工図	
12雑工事施工図	家具 その他

・電気設備工事

名　　称	備　　考
１各階平面詳細図	
２各部分詳細図	
３スリーブ及開口図	
４機器詳細図	盤図 照明器具 弱電機器

・機械設備工事

名　　称	備　　考
１各階平面詳細図	
２各部分平面詳細図	
３スリーブ及開口図	
４機器詳細図	

その他施工上必要な図面を遅滞なく作成し係員の承認を受ける。提出期限は、他工事と関係ある場合は最も早い工事の一週間前とする。

工事報告及記録

工事請負者は下記要領に従い、報告書を係員に提出する。

中間工事報告書	中間工事概要（工事写真付）・工事出来高・資材製作搬入状態・天候、労働者の就業の状態・次月工事予定等。	中間出来高請求時	
定例打合せ会議議事録	議事内容を、出席者の承認を受けて発行する。	次週まで	
工事日報	工事記録一式		
各種試験検査結果報告書	構造強度耐久性に関するもの。	適時	

工事写真 完成写真

着工前　　敷地及び周辺の道路、建築物、工作物等の現況の撮影を行う事。

写真名	記入事項	撮影箇所	焼付	備考	提出部数
工事写真	日時 場所 名称	工事過程の全容及係員の指示	カラーサービス版	フリーアルバムに名称を入れて工程毎	２
完成写真	場所 名称	内観 全室数２面及指示箇所	カラーサービス版(主要部は、ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ5ﾈｶﾞ)	Ａ４型アルバム	２
	場所（方位）	外観 ４面他指示箇所 外観　2~3面	カラーキャビネ版カラー	4×5ネガ 4×5ネガ共	２
主要写真(ネガ提出)	名称	主要内観　3面	４ッ切版	提出	１

＊その他、申請用写真については指示部数作成するものとする。（工事完成写真は、全て建築写真専門会社による事）

中間立合検査

工事中下記工程に達した時は、係員の中間検査を受けこれに合格した後でなければ次の工程に進んではならない。又、施工後検査が不可能、又は困難な工事については、係員の立会検査を要する。又、必ず寸法を明確にした写真にて記録する事。

１ 縄張り
２ 試験杭打
３ 根伐り終了時
４ 木造架構建方各節完了時
５ コンクリートスランプ試験
６ コンクリート型枠各階完了時（配筋及埋設配管）及び打設時
７ 各種製品、試作完了時又は製作完了時
８ その他構造体・仕上材又は断熱材等の内側に隠蔽されるもの及び躯体内に埋設されるものは工事前に立合検査を行う。
９ 各種構造材強度試験

材料

本工事に使用する材料は、仮設工事用に差しつかえないもの及び特に記載されたもの以外は、全て新品とし係員の検査を受け合格したものとする。

検査及試験

検査及び試験は、日本工業規格（JIS）日本農林規格（JAS）及び通産省規格に準ずる。

引き渡し事務

竣工下検査

竣工２週間前に残工事リスト及び残工事工程表を係員に提出する。係員は書類に従い竣工下検査を行い、最終残工事を確認する。

官公署完了検査

所轄官公署の行う検査（建築基準法・消防法他）は、監理事務所下検査までに完了の事。

建築主竣工検査

上項の検査及び各指摘事項が完済した後、建築主又はその代理人により竣工検査を行い、その承認を得た後建築の引渡しを行う。

工事保証

竣工引渡し後に工事不良またはそれに準ずる理由により生じたと認められる損傷又は、不都合は契約書に定める年限において請負者の負担により迅速丁寧に修理、改良しなければならない。

（１）竣工引渡し後、６ヶ月は可動部分（家具建具及各設備）の調整

（２）工事保証（かし担保期間）最終時、施主・設計事務所、請負業者の立合により最終検査を行う。これに直接必要な経費は、全て請負業者の負担とする。

（３）防水保証はアスファルト防水10年、シート防水10年塗膜防水10年とし請負業者施工及材料納入者連名による保証書を提出する事、尚雨漏れの起こった場合は請負業者の責任において、理由の如何を問わず無償にて全面手直しを行う事。又、雨漏れの理由による内装の汚れ等も全て補修、又は状況により全面改修する事。（コンクリート亀裂共）

備　考

一級建築士事務所
有限会社 一城企画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３
担当者
平成 24 年 7 月

工事名 東予高校５０周年記念会館新築工事設計図
図面名 特記仕様書　（一般事項－２）
縮尺
図面No. A-02

建築主体工事

特記事項は◯のついたものを適用する。
◯印のない場合は※印のあるものを適用する。
◯印と※印のある場合はともに適用する。

仮設工事

⊙本工事は工事着工前に関係者立ち合いの上現地測量及調査を行いそれに基いて仮設計画、建物配置計画を行う。
・仮囲いは、下記程度とする。
仕様　　全周　北.東.南.西
高さ　　M

⊙係員詰所
面積 39.67m² （監理事務所共）
係員詰所には、電灯、給水、その他必要設備を、係員の指示により設ける。

⊙工事用水　構内既存の施設
・利用できる（・有償・無償）　⊙利用できない

⊙工事用電力　構内既存の施設
・利用できる（・有償・無償）　⊙利用できない

土工事

⊙敷地内にある障害物は、係員の指示により処理する。又埋設物等は事前に調査を行うが、掘り当てた場合は、必要に応じて緊急処理を行い、関係者と協議のうえ、請負者の責任において処理する。

⊙埋戻し及び盛土
・山砂の類　※根切り土の中の良質土

⊙残土処分
※構外搬出適切処置　・構内指示の場所にたい積

⊙騒音振動の防止
低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を利用する。

地業工事（特殊基礎工事－杭地業）

・杭の仕様は下記とする。

・工事に先立ち杭打計画書を提出、承認を得たる後、係員の指示により所定の工法により試験杭を施工する。試験杭は下記の通りとする。
試験杭　　本（本杭転用）
現場指示位置
・杭の設計支持力は、　t／本以上とする。
・支持力の算定方法
※昭和46年1月29日建設省告示第111号による。

・杭工事に於ける杭の偏心については、業者責任において基礎、地中梁等の構造強度検討書を作成し係員の承認を得て処理する。

（捨てコンクリート地業）

⊙コンクリートの種別
※ＦＣ＝ 18N/mm²　スランプ　15　cm

⊙厚さ　(m/m)
※図示による。

（防湿・防蟻層）

⊙土に接する屋内の床版下には下記シートを敷き込む。
防蟻防湿シート 厚0.15

鉄筋コンクリート工事

⊙鉄筋の種類

鉄筋	類別	種別	径(mm)及び通用箇所
※異形鉄筋	※JIS G3112、G3117の規格品	SD 295A	D16以下
		SD 345	D19以上
		・	
	・試験の結果が上記の規格に合格するもの	・	
・丸鋼	・JISG3112・SR24　G3117 ・SRR24の規格品		
	・試験結果が上記の規格に合格するもの		

※規格証明書提出の事

⊙鉄筋の継手

接合方法	径(mm)
※重ね継手	・ D10～D16
	・ D19～D22
・	

⊙帯筋　形の種別
※Ｈ形　・Ｗ－Ⅰ形　・Ｗ－Ⅱ形　・Ｓ形　・
（共通仕様書による）

・梁貫通孔補強　補強形式
※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形　・図示
（共通仕様書による）

⊙鉄筋コンクリートの種類と品質は下記とする。

適用箇所	種類	設計基準強度	スランプ
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎、1階ｽﾗﾌﾞ	FC21N/mm²	15

⊙ｺﾝｸﾘｰﾄの品質基準強度は、設計基準強度+3N/mm²とする。

⊙レディーミクスコンクリート
種別 ※ JIS表示許可工場製　・

⊙セメント　種類
種類 ※普通ポルトランドセメント・混合セメントのＡ種
・早強ポルトランドセメント

⊙細骨材の塩分含有量など
塩分含有量　※ 0.04以下　・
生コン中の塩化物量　※ 300g／m³以下　・

⊙混和材料
※ AE剤又はAE減水剤標準形

⊙気温によるコンクリート強度の補正
適用期間　※　監督員指示　・

⊙無筋コンクリート
粗骨材の最大寸法(mm)　（捨コンクリート及び防水押さえコンクリートの場合）
※ 25m／m　・

適用箇所

種類	設計基準強度 F(N/mm²)	気乾単位容積重量(t/m³)	施工箇所
普通コンクリート	・FC18N/mm² ・ ｽﾗﾝﾌﾟ15	2.2～2.4	
軽量コンクリート	・		

⊙コンクリート打放し仕上
⊙Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　（共通仕様書による。）

組積工事

・補強コンクリートブロック積みは日本建築学会、補強コンクリートブロック構造に準じて行う。

・種類
※JISA5406(空間コンクリートブロック)による規格品
・

・種別　※鉄筋、SD295A

適用箇所	種別
間仕切壁、地下二重壁、堀、外壁、耐力壁	Ｃ種・普通
外壁（化粧積み）	Ｃ種・防水

・ＡＬＣパネル取付種別
パネル縦使い　・Ａ種（スライドエ法）　・Ｂ種（挿入筋エ法）
パネル縦使い　・Ｃ種（カバープレートエ法）　・Ｄ種（ボルトエ法）

・ＡＬＣパネルの形状、寸法

鉄骨工事

・材料の品質は下記とし、規格証明書を提出する。

・一般構造用圧延鋼材　JISG　3101　SS 400
・溶接構造用圧延鋼材　JISG　3106　SM 490A
・建築構造用冷間成形　JISG　3350　SSC 400
・軽量形鋼
・ボルトナット　※JISG 3101　・アンカーボルト SS41
・高力ボルト　JISB 1186　F10T
・防錆塗装　・JISK5622　・１種　・２種
※JISK5623　・１種　・２種
・JISK　・　・
防錆塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止め塗料とし共通仕様書参照
塗り回数・１回　※２回
（・工場１回、現場１回
・工場２回　）
・溶接部のメッキ　２種　HDZ45
・溶接部の検査　試験の種別
※超音波探査試験　・放射線試験　・マイクロ試験
・鉄骨組立は、現寸図を作成し、承認を得て製作組立を行う。
・鉄骨加工は全国鉄構工業連合会下記グレード同等製作工場とする。
※・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　グレード

防水工事

・防水の種類と場所は下記とする。

施工箇所	仕様

⊙シーリング材は下記の通りとする。

施工箇所		仕様
建具廻り	※10×15 ・	※変性シリコン系 ・ポリウレタン系
打継ぎ目地	※ 7×10 ・10×10	※変性シリコン系 ・ポリウレタン系
ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ廻り	※ 7×10 ・	※ポリウレタン系 ・
金物取合廻り	※10×15 ・10×10	※変性シリコン系 ・ポリウレタン系
外壁廻り目地　二重ｼｰﾙ	※10×15 ＋ 7×10	※変性シリコン系 ＋ポリウレタン系
外額縁廻り	※ 7×10	※変性シリコン系 ・
ガラス押え	・ 5× 5	※ポリサルファイド系
内部　ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ廻り	・ 5× 5	※シリコーン系（1成分形）

⊙漏水試験　箇所 ※ 屋内（外）の防水部

屋根工事

⊙ 屋根金属板葺工法は下記とする。
カラー鋼板 瓦棒葺 断熱材付
下葺きルーフィングはエアーギャップシートとする。
~~塗装GL鋼板 横葺 断熱材付（断熱ﾀﾞﾌﾞﾙ=7240程度）~~
~~隅棟：差し棟往様　　棟：換気棟工法~~
~~塗装GL鋼板 瓦棒葺（曲面用） キャップ式（ﾗｼﾞｱﾙﾐ=72型程度）~~
~~断熱材 厚4裏張り~~

・ 塗装GL鋼板は塗装溶融55%ｱﾙﾐ亜鉛ﾒｯｷ鋼板ガルスター程度とし、下葺きｺﾞﾑｱｽﾙｰﾌｨﾝｸﾞはタック付とする。

石及タイル工事

⊙石及テラゾーブロックの仕様は図示によるも、製作図及見本品提出のうえ承認を得、施工する。

⊙花こう岩類及大理石張り

施工箇所	品質	材質・産地	仕上げの種類
玄関床見切	※１等	花崗石	※本磨き・J&P

・定礎石
・定礎石は花こう岩（※　ミカゲ石　・　　）指示
文字掘込本磨き
仕上とし指示位置に取付る　大きさ（426 × 426）

・テラゾーブロック張り
・種石の種類、大きさ　※大理石の類　（12m/m以下）
・花こう岩の類（6m/m以下）

・施工箇所　面台

⊙陶磁器質タイル貼の仕様は下記とする。㈱INAX同等

施工箇所	形状・寸法	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無	うわ薬 施	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	備考
内部床 外部床	150角	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙⊙		・	ﾋﾞｱｯｻｱＯＸ
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
							・	・	・	・	

・ 段鼻　磁器ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ150×60(新階段ﾀｲﾙ同等)

⊙タイル貼は、図示によるも割付は施工図（割付図）を作成し、係員の承認を得施工する。又、タイルは、色物としコーナー等全て役物仕様とする。
各色見本品及、見本貼（現場指示）を提出し色決定を行う。

木工事

⊙木材の含有率（工事現場搬入時）
構造材、下地材　※20°／wt以下　・24°／wt以下
造作材　※18°／wt以下　・20°／wt以下
（全断面の平均の推定値とする。）

⊙各詳細図、木材書込寸法は、造作材については仕上り寸法とし、構造材は挽立寸法とする。尚、現場納まり上寸法形状を変更する場合も、工事費の増減は行わない。

⊙木材仕様
構造材　図示による
造作材　図示による

⊙外部に使用する釘はステンレス製又は真鍮製とする。

⊙木材は県産材を使用する事。

備考

一級建築士事務所
有限会社 一城企画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所 愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３
担当者
平成 24 年 7 月

工事名 東予高校５０周年記念会館新築工事設計図
図面名 特記仕様書 （建築主体工事－１）
縮尺
図面No. A-03

金物工事

・軽量鉄骨天井納りは、施工図及見本品提出のうえ決定する。尚、照明器具等穴明及補強は、各々設備工事区分であるが、十分打合せを行い、係員の指示により補強を行う。

⊙金物製品（塩ビ鋼板、フッソ樹脂鋼板、アルミ・ステンレス製品等）は図示によるも、各々製作図を作成し係員の承認を得製作にかかる。又、仕様・寸法・形状等現場にて変更する場合は、係員の指示による。

・点検口は下記の通りとし、各々業者間打合せを行い、係員の承認の上で施工する。

天井点検口	アルミ製	450角	ヶ所
	〃	600角	ヶ所
床下点検口	ステンレス製	600角	ヶ所(錠付)

⊙館名板等のデザイン及形状は、係員の指示及承認を得て製作にかかる。

・軽量鉄骨
天井下地　種類　屋内　※19形　・
　　屋外　※25形　・
壁 下地　種類　・50形　・65形　・75形　・90形
　　・100形
・ルーフドレイン　※コールタール焼付仕上げ
　　取付　※先付け工法　・後付け工法

左官工事

⊙モルタル塗
⊙モルタルは亀裂防止材、接着材、防水剤その他の混和剤を必要に応じて係員と協議の上使用するものとする。

⊙塗厚　内壁　※25m/m　・
　　外壁　※25m/m　・
　　床　※30m/m　・

・防水モルタル塗
・防水剤は、製造会社等係員の承認を得、モルタル塗に準じて仕上げる。

（仕上塗材）

・複層模様吹付及薄塗材吹付の仕様は、下記とする。

施工箇所	種類	凸面処理	上塗り材	工法

・施工は後記メーカー責任施工とし、引渡しより３年間に生じる亀裂、ハクリ等クレームが生じた場合には、全てメーカー及請負業者の連帯責任において補修又は、全面改修する。
・吹付タイル、リシン共、吹付見本（0.1㎡程度）を提出し色決定する。

建具工事

⊙アルミ建具の仕様は、下記とする。
見　込（※70～80mm　・100mm　）
耐圧性風（※2000Pa）
気密性（※ 8等級）
水密性（※ 350Pa）
表面処理（・アルマイト仕上　　※電解着色皮膜 ）

・鋼製建具は防錆処理のうえ下記の仕上とする。
（※OP　・　　）

・ステンレス製建具　曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ
　　仕上　※ＨＬ　・

⊙木製建具　種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
　　フラッシュ戸の表面板厚　・5.5以上
　　※4.0以上

・ドアは木製・鋼製建具共通マスターキー装置とする。

硝子工事

⊙硝子厚は図示によるも、メーカーにて強度計算を行う。又、仕様変更が起こる場合は、係員の指示により施工する。

⊙種類図示による。

塗装工事

⊙塗装は、下記仕様とする。又、各々、１㎡程度の色見本塗により決定する。
⊙鉄面の素地ごしらえ
　　種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
⊙モルタル及びプラスタ面の素地ごしらえ
　　種別　・Ａ種　※Ｂ種
⊙コンクリートALCパネル及石綿セメント板面の素地ごしらえ　種別　・Ａ種　※Ｂ種
⊙石膏ボード及その他ボード面の素地ごしらえ
　　種別　・Ａ種　※Ｂ種
⊙石綿セメントケイ酸カルシウム板面の素地ごしらえ
　　種別　・Ａ種　※Ｂ種
（共通仕様書による）

施工箇所	符号	種類	塗回数	備考
・鋼製建具	SOP	合成樹脂	・3回	・錆止メ 2回
	鉄部	調合ペイント	・回	・錆止メ 2回
⊙額縁・巾木他	PK	ﾌﾗﾈｯﾄｶﾗｰ	⊙2回	・
	木部	調合ペイント	・回	・
⊙ボード面	AE	アクリル樹脂	⊙3回	
		樹脂エナメル	⊙回	
・	FP	フタル酸	・	
		樹脂エナメル	・	
⊙ボード面	EP	合成樹脂	⊙3回	(壁)
		ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	⊙2回	(天井)
・	PU	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝﾜﾆｽ	・回	
			・	
⊙木部(外部)		木材保護着色塗装	⊙2回	
⊙木部(内部)	PK	木材保護塗装	⊙1回	ﾌﾗﾈｯﾄｶﾗｰ

⊙構造材見え掛面は加工工場にて保護塗装を行う事。
⊙調合ペイント塗の種別
屋内 ※油性調合ペイント又は合成樹脂調合ペイントの２種
・
屋外 ※合成樹脂調合ペイントの１種
・
・木材保存剤塗装　ｷｼﾗﾓﾝﾌｧｰｽﾄｶﾞｰﾄﾞWR程度
(RC部分と取合う木部)

内装工事

⊙ビニル床シート　種類　・長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ 厚2.0(R)　ﾏｰﾌﾞﾙ柄
　　・長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ 厚2.0(R)　ﾘｯﾁ柄
　　・長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ 厚2.0(R)　ﾘｯﾁ柄
　　・長尺ﾋﾞﾆﾙﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｼｰﾄ 厚2.5　NS500ｶﾞｰﾃﾞﾝﾄ
　　・綿布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ 厚2.0　ｽﾀﾝﾛｰﾄﾞ
・ビニル床タイル　種類　・ﾒﾙｳｯﾄﾞHT　75×900
・畳敷き　種類　・Ａ種（１級品）※Ｂ種（２級品）
　　・Ｃ種
・じゅうたん敷き　・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ（・模様なし無地　・　）
　　種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
　　・ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ（　　）
　　種別　・Ａ種　・Ｂ種
　　（共通仕様書による）
　　・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
・クロスは下記の金額を見込み相当品を選定する。
（金額は全て材料単価とし、貼手間は含まない。）
ビニルクロス（天井共）　1,100円/m²

⊙その他各内装材は、後記メーカーより材料を選定し、色見本提出の上。関係係員協議の上決定する。
尚、色見本のサイズ等については係員の指示に従う。
⊙フローリング

雑工事

⊙造付家具、既製家具は、図示によるも製作図を作成し寸法仕様等、承認を得、製作にかかる。又、家具類は家具専門の職人により、製作する。

・黒板は、スチール製アルミ枠とし、行事予定黒板等の書込み文字は、係員の指示により、製作する。

⊙消火器は、指示位置に、ABC粉末10形を取付ける。

消火器（10形）	1　本
Ｕボックス（OP）	ヶ所
屋外用ステンレスボックス	ヶ所
室内用引掛フック（SUS）	ヶ所

（アクリル表示板共）
・トイレブースは、ﾒﾗﾐﾝ化粧板（ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ下地）　とし製作図提出のうえ係員の承認を得、施工する
（ステンレス金具及、ステンレス巾木共）

・ＯＡフロアー　鋼製 300kg/m² 1.0G仕様 ﾓﾙﾀﾙ充填品

サイン工事

・指示により室名札を取付ける事、室名及書体・色は現場指示とする。
・持出形　（ステンレス枠アクリル板）　×　ヶ所
・平付け形　（ステンレス枠アクリル板）　×　ヶ所
・種類図示による。

舗装工事

・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装
・透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装
・透水性平板敷
・計画ﾚﾍﾞﾙに付いては図示によるが、ﾚﾍﾞﾙ.勾配.現場取合等現地調査を充分行い、施工図を作成し係員の承認を得て施工する事。

指定材料の製造所及び施工業者

本工事に使用する主要材料は、下記製造所　同等品以上の責任施工とする。
各々発注前に承認願いを提出し承認を得ること。

番号	工事名（材料機器）	製造所及び施工業者			備考
1	ﾚﾃﾞｨﾐｸｽｺﾝｸﾘｰﾄ	ＪＩＳ規格品			
2	鉄筋	ＪＩＳ規格品			
3	鉄骨	ＪＩＳ規格品			
4	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	ＪＩＳ規格品又は県ＣＢ工業組合加盟会社			
5	集成材製作･加工	ﾄﾘｽﾐ集成材㈱	愛媛県森林組合連合会		同等品
6	タイル	㈱ＩＮＡＸ	東陶機器㈱	ダントー㈱	
7	鋼製建具				
	･アルミ	新日軽㈱	三協ｱﾙﾐﾆｳﾑ工業㈱	不二サッシ㈱	トステム㈱
	･建具金物	㈱ゴール	美和ロック㈱	リョービ㈱	㈱シロクマ
8	内外装				
	･床シート	㈱タジマ	東リ㈱	タキロン㈱	
	･複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	天龍木材㈱	㈱ウッドワン	大建工業㈱	
	･腰板	アイカ			同等品
	･洋風造作材	㈱ウッドワン	大建工業㈱	トステム㈱	
	･珪藻土仕上塗材	フジワラ化学			同等品
9	仕上ユニット				
	･消火器(ﾎﾞｯｸｽ共)	上田消防建設㈱	㈱森田ポンプ	ﾔﾏﾄﾌﾟﾛﾃｯｸ㈱	
	･調理台･図書家具	コクヨ㈱	㈱西尾家具工芸社	㈱内田洋行	
	･流し台他	ﾀｶﾗｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ(株)	ｻﾝｳｪｰﾌﾞ工業㈱	ﾐｶﾄﾞ㈱	

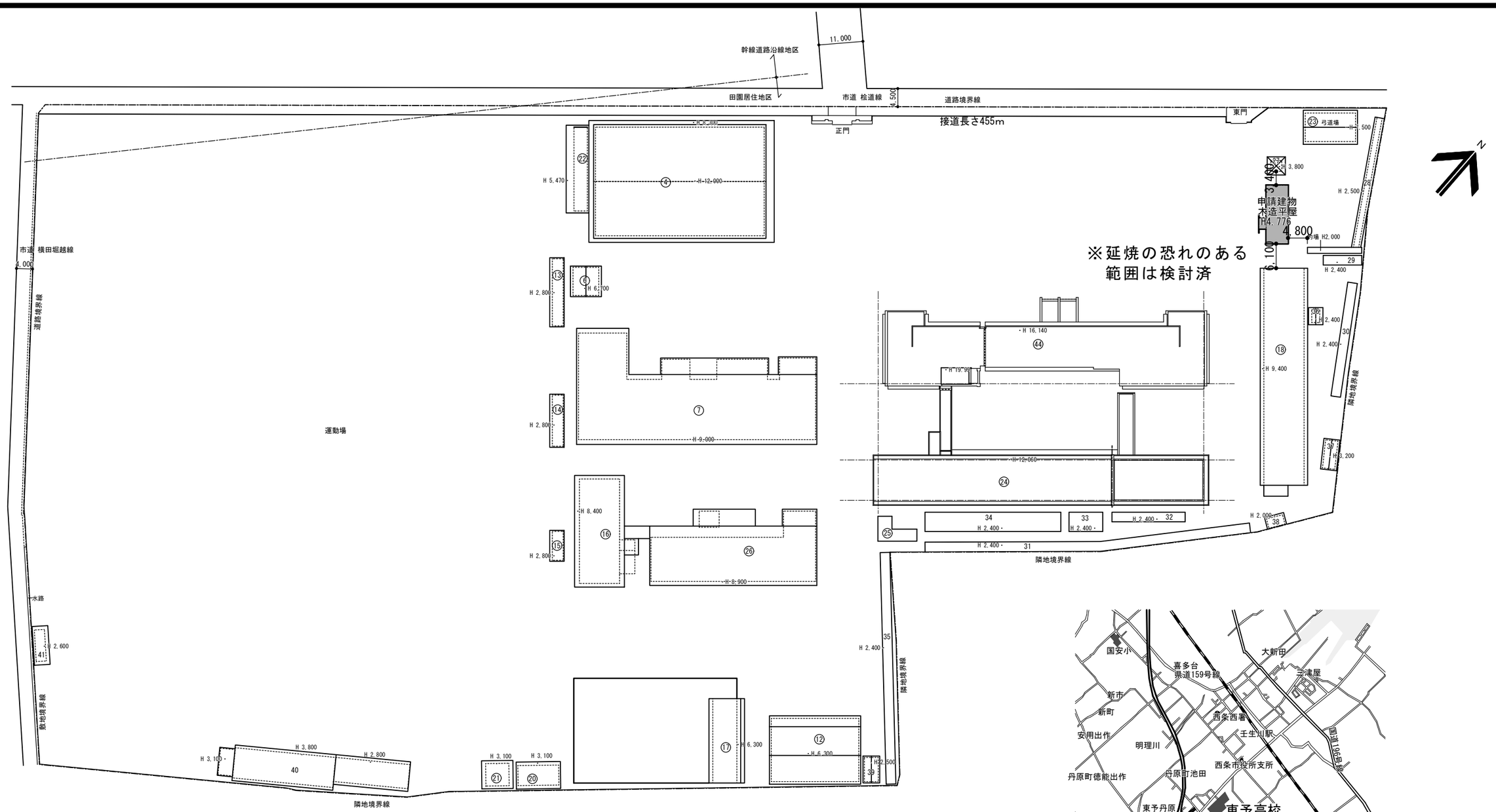
備　考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

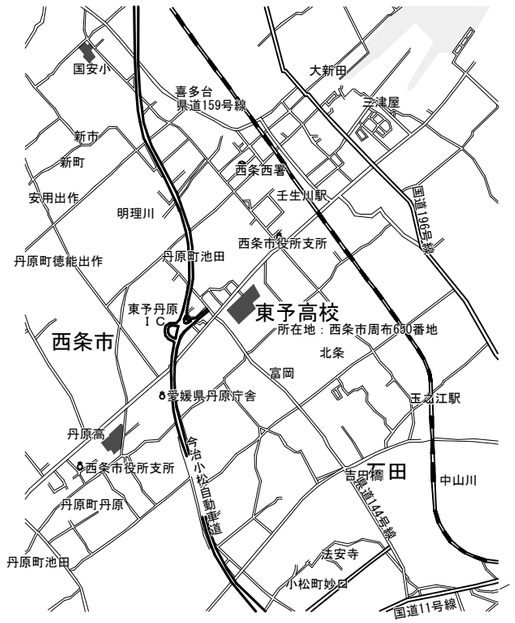
設計No. １２０３
担当者
平成 24 年 7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図
図面名　特記仕様書（建築主体工事－２）
縮尺

図面No. A-04

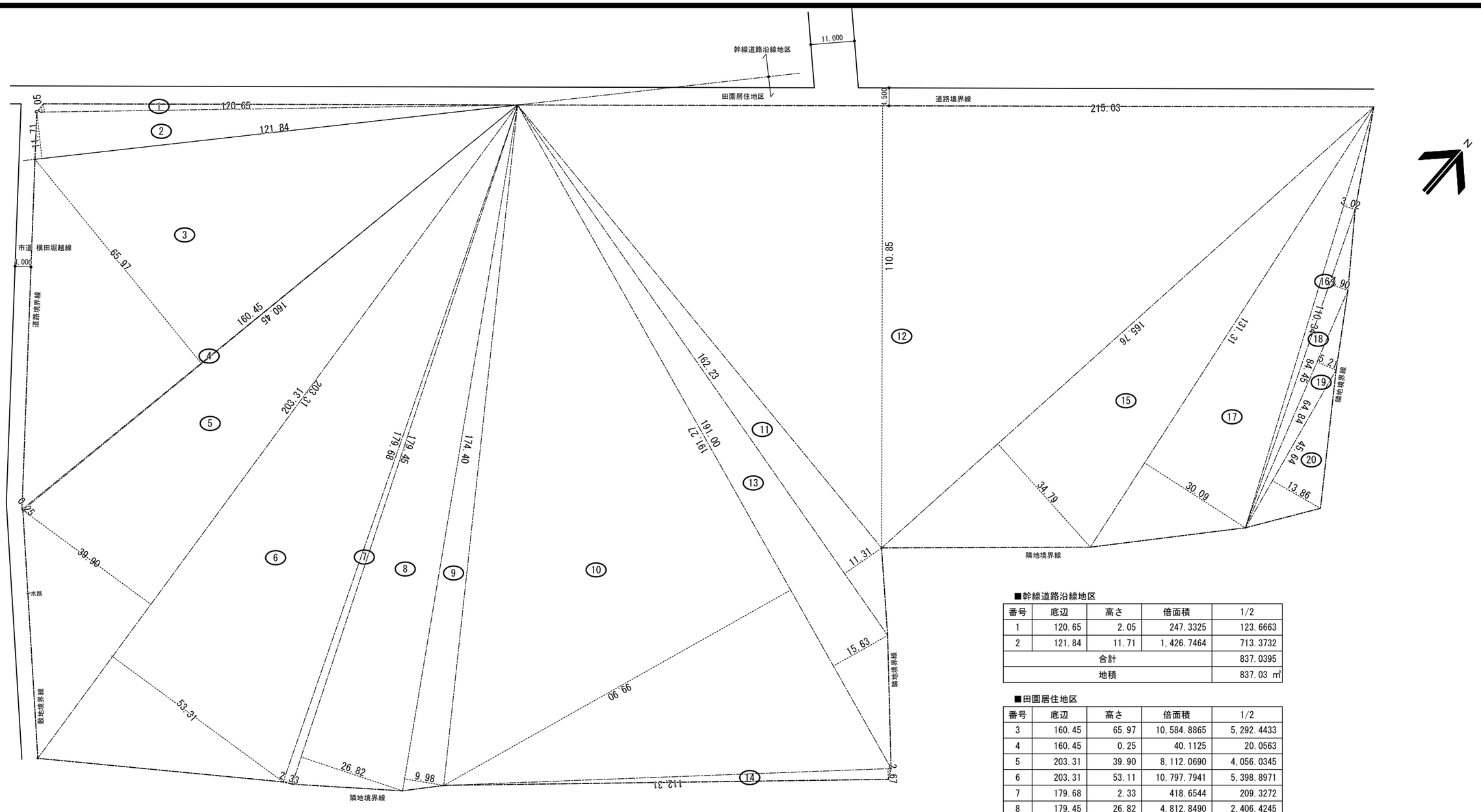


敷 地 配 置 図　　S=1/1,000



付 近 見 取 図　　S＝NONSCALE

備　考	一級建築士事務所 有限会社 一 城 企 画 〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３ 一級建築士大臣登録第203185号　城 戸 一 也 一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号 TEL (0898)64-7229 FAX (0898)64-7219	設計No. １２０３ 担当者 平成 24 年 7 月	工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図 図面名　敷 地 配 置 図	縮尺 S=1/1,000	図面No. A-05



敷 地 丈 量 図　　S=1/1,000

■幹線道路沿線地区

番号	底辺	高さ	倍面積	1/2
1	120.65	2.05	247.3325	123.6663
2	121.84	11.71	1,426.7464	713.3732
合計				837.0395
地積				837.03 ㎡

■田園居住地区

番号	底辺	高さ	倍面積	1/2
3	160.45	65.97	10,584.8865	5,292.4433
4	160.45	0.25	40.1125	20.0563
5	203.31	39.90	8,112.0690	4,056.0345
6	203.31	53.11	10,797.7941	5,398.8971
7	179.68	2.33	418.6544	209.3272
8	179.45	26.82	4,812.8490	2,406.4245
9	174.40	9.98	1,740.5120	870.2560
10	191.27	99.90	19,107.8730	9,553.9365
11	162.23	11.31	1,834.8213	917.4107
12	215.03	110.85	23,836.0755	11,918.0378
13	191.00	15.63	2,985.3300	1,492.6650
14	112.31	2.67	299.8677	149.9339
15	165.76	34.79	5,766.7904	2,883.3952
16	110.34	3.02	333.2268	166.6134
17	131.31	30.09	3,951.1179	1,975.5590
18	84.45	4.90	413.8050	206.9025
19	64.84	5.21	337.8164	168.9082
20	45.64	13.86	632.5704	316.2852
合計				48,003.0860
地積				48,003.08 ㎡

敷地面積合計　48,840.11㎡

備　考

一級建築士事務所
有限会社　一 城 企 画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城 戸 一 也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No.　１２０３

担当者　平成 24 年 7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名　敷 地 丈 量 図

縮尺　S=1/1,000

図面No.　A-06

外部仕上表

基礎立上り	コンクリート打ち放し補修	外壁	防火サイディング(塗装品) t14　釘打ち施工 防水シート、横胴縁18×45@455 メーカー施工基準による コーナー役物 水切り：GL鋼板t0.3加工	軒天	ケイカル板t6　EP塗装 一部：有孔板		
ポーチ	150角磁器床タイル貼り			屋根	ガルバリウム鋼板t0.4瓦棒葺き　3／10 ゴムアスシート下地 屋根断熱材：スタイロフォームt30		
スロープ	コンクリート直押え　刷毛目処理						
		破風・鼻隠し	既製品H180　塗装品	樋	軒樋：120角　SUS受け金物@600 タテ樋：VU75φSUS受け金物@1200		

内部仕上表

シックハウス対策特記事項
1. 内装仕上、家具、建具等に用いる合板類は全てF☆☆☆☆の物とする。
2. 壁紙は全てF☆☆☆☆の物とする。(壁床接着剤及び塗料とも)
3. 小屋組木部は全て無垢材（F☆☆☆以上）を使用する。
4. 天井裏及び外壁断熱材はF☆☆☆☆の物を使用する。
5. 塗料は全てF☆☆☆☆(プラネットカラー同等品）とする。

<<内装制限>>　ビニールクロスは防火２級品とする。
ＰＢ（t12.5or9.5）下地ビニールクロス　準不燃　QM9232号
化粧石膏ボード(ジプトーンt9.5同等品)　不燃(個)1044号

<<下地補強>>　テスリ、設備機器、家具、カーテンレール等の取付部分を
コンパネt12等で適宜、補強する。

<<断熱材>>　天井裏：　グラスウールt100（10K）
外壁面：　スタイロフォームt30
屋根面：　スタイロフォームt30

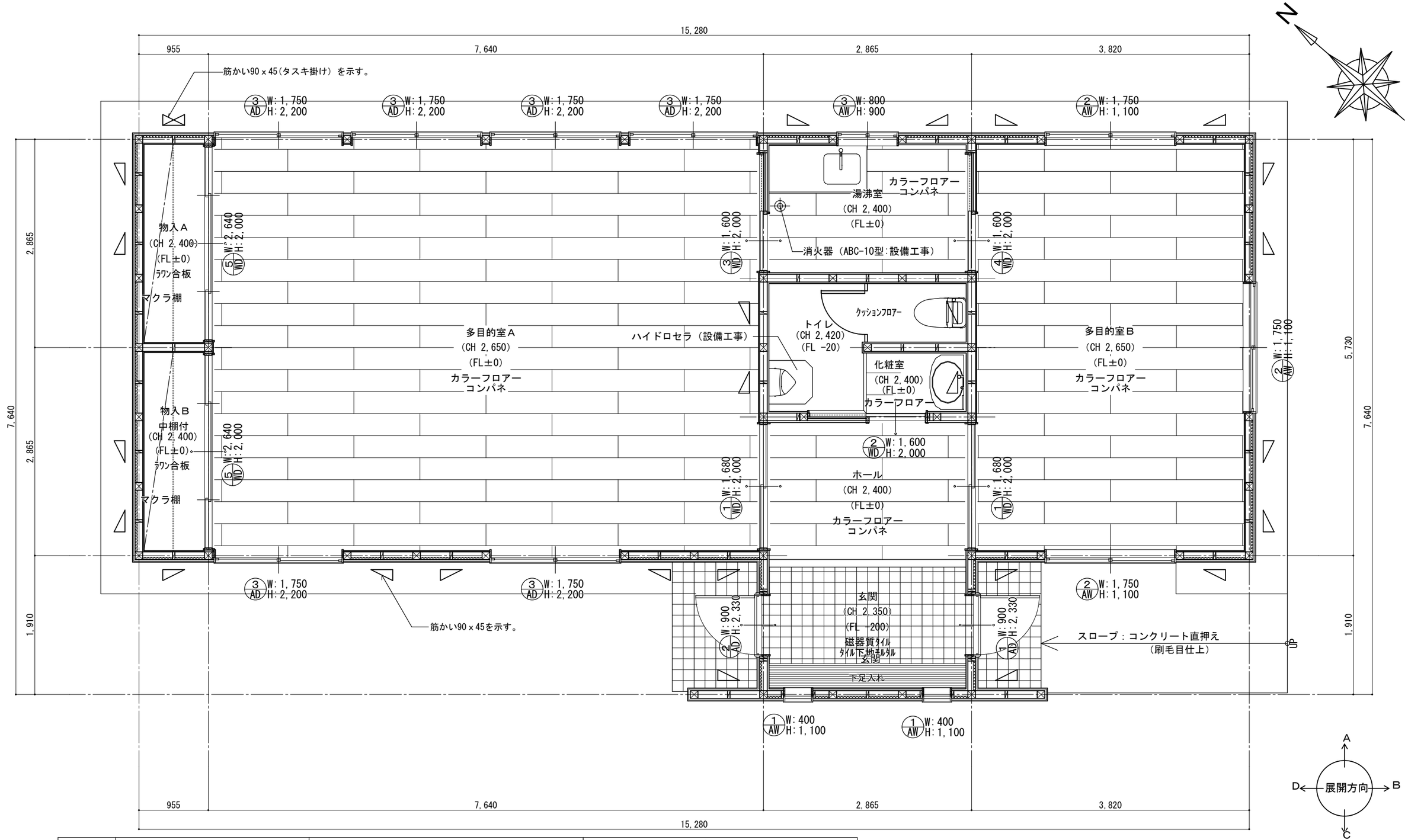
部屋名称		床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	壁 腰 下地	壁 腰 仕上	壁 腰 H	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	廻縁	備考
１Ｆ	玄関	ﾀｲﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ	磁器質ﾀｲﾙ　150×150	木製	75	腰： PB下地　t=9.5	腰板張り　t=9 珪藻土塗	1,100		化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　t=9.5	2,350	塩ビ	下足入
	ホール	コンパネt12	カラーフロアーt12	木製	75	腰： PB下地　t=9.5	腰板張り　t=9 珪藻土塗	900		化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　t=9.5	2,400	塩ビ	
	多目的室Ａ	同　上	同　上	木製	75		化粧合板張り　t=4			同　上	2,650	塩ビ	
	多目的室Ｂ	同　上	同　上	木製	75		化粧合板張り　t=4			同　上	2,650	塩ビ	
		同　上	同　上	木製		腰：	板張り　t=9			同　上		塩ビ	天井点検口（アルミ450□）
	湯沸室	同　上	同　上	木製	75	腰： PB下地　t=9.5	板張り　t=9 珪藻土塗	900		同　上	2,400	塩ビ	天井点検口（アルミ450□）
	化粧室	同　上	同　上	木製	75	腰： PB下地　t=9.5	板張り　t=9 珪藻土塗	900		同　上	2,400	塩ビ	
	トイレ	同　上 小便器下：ハイドロセラ（設備工事）	クッションフロアー	木製	75	腰： PB下地　t=9.5	板張り　t=9 珪藻土塗	900		同　上	2,420	塩ビ	
	物入Ａ		ラワン合板t9	木製	75		プリント合板			ラワン合板t3			マクラ棚
	物入Ｂ		同　上 中棚：ラワン合板t5.5	木製	75		プリント合板			ラワン合板t3			マクラ棚

備　考
※図面及び仕様書に記載なき場合は住宅金融公庫「木造住宅工事共通仕様書」に依る。
※内部床仕上は段差なし(バリアフリー)とする。
※コンクリートに接する木部は防腐処理(加圧式防腐処理）をする。
※防腐･防蟻処理はＧＬ＋1,000まで施工する。

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No.　１２０３
担当者
平成　24 年　7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図
図面名　外部・内部仕上表
縮尺
図面No.　A-07



室名	室面積計算（A）		排煙面積 必要面積（A／50）	開口面積 W	H	ヶ所	小計	有効面積	判定	換気面積 必要面積（A／20）	開口面積 W	H	ヶ所	小計	有効面積	判定
多目的室A	7.64 × 5.73 ＝ 43.78	43.78	0.88	0.85	0.35	6	1.79	1.79	O・K	2.19	0.85	2.20	6	11.22	11.22	O・K
多目的室B	3.82 × 5.73 ＝ 21.89	21.89	0.44	0.85	0.35	3	0.89	0.89	O・K	1.09	0.85	1.10	3	2.81	2.81	O・K

建築面積		15.280 × 5.730 ＝ 87.5544	1階床面積		15.280 × 5.730 ＝ 87.5544
		4.775 × 1.910 ＝ 9.1203			2.865 × 1.910 ＝ 5.4722
		計 96.6747			計 93.0266
		面積 96.67 ㎡			面積 93.02 ㎡

備 考

一級建築士事務所
有限会社 一城企画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号 城戸一也
一級建築士事務所 愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３

担当者

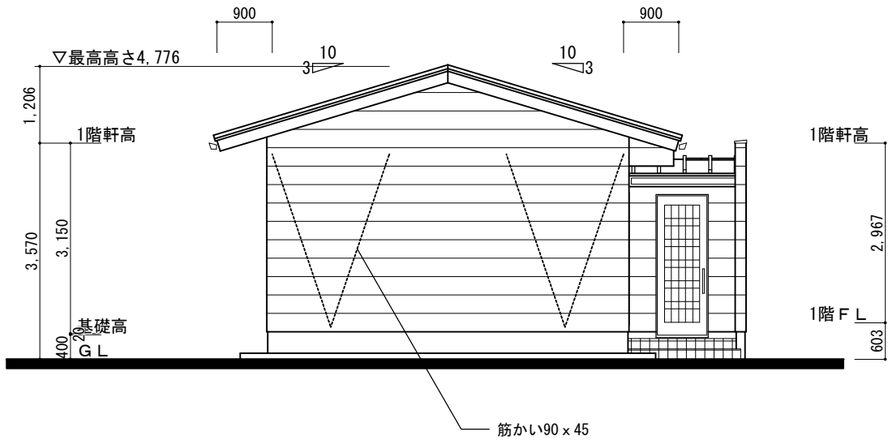
平成 24 年 7 月

工事名 東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

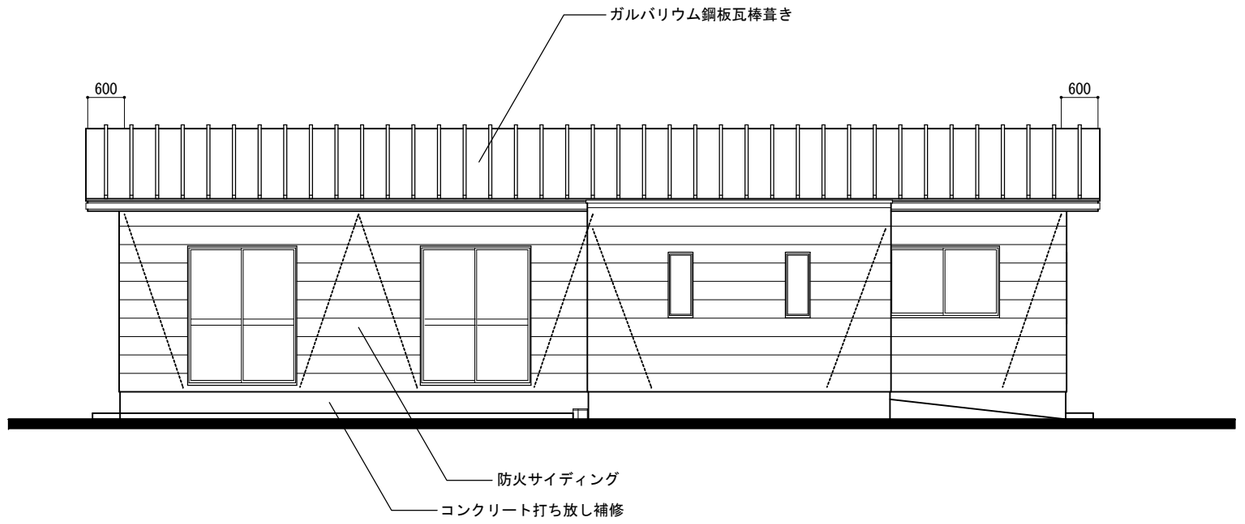
図面名 平面詳細図

縮尺 S=1/50

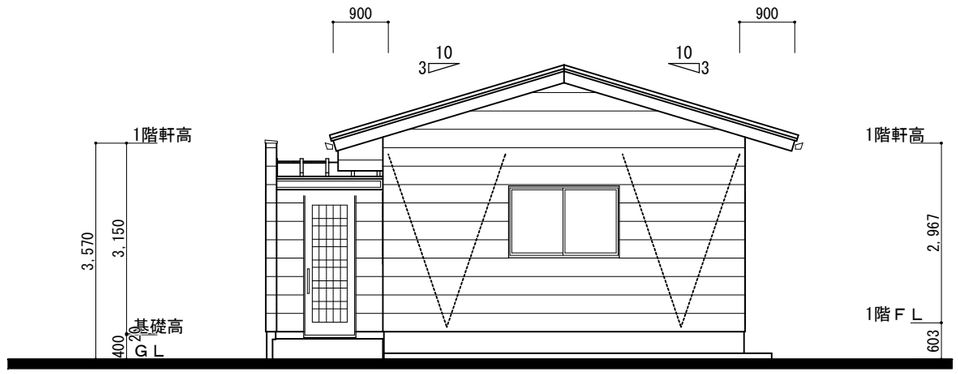
図面No. A-08



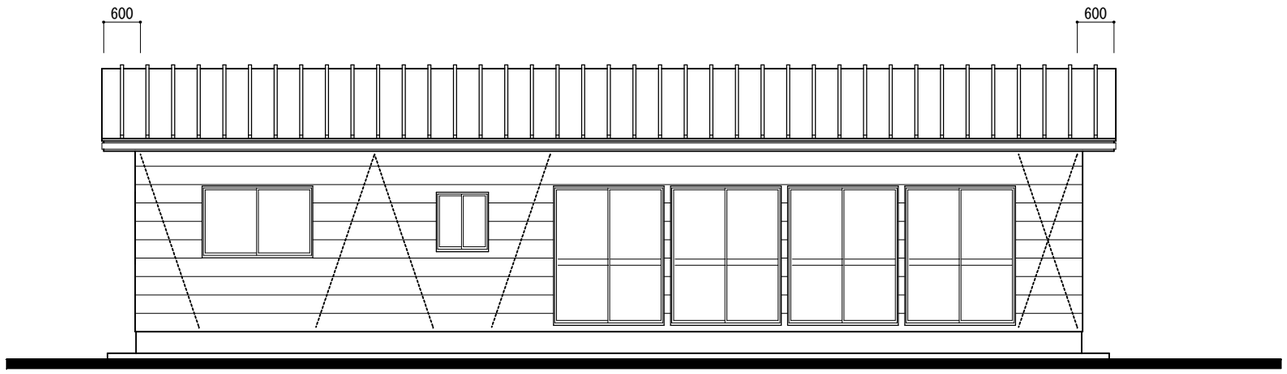
北側立面図　　S=1/100



西側立面図　　S=1/100



南側立面図　　S=1/100



東側立面図　　S=1/100

備　考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也　FAX (0898)64-7219
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号

設計No.　１２０３

担当者

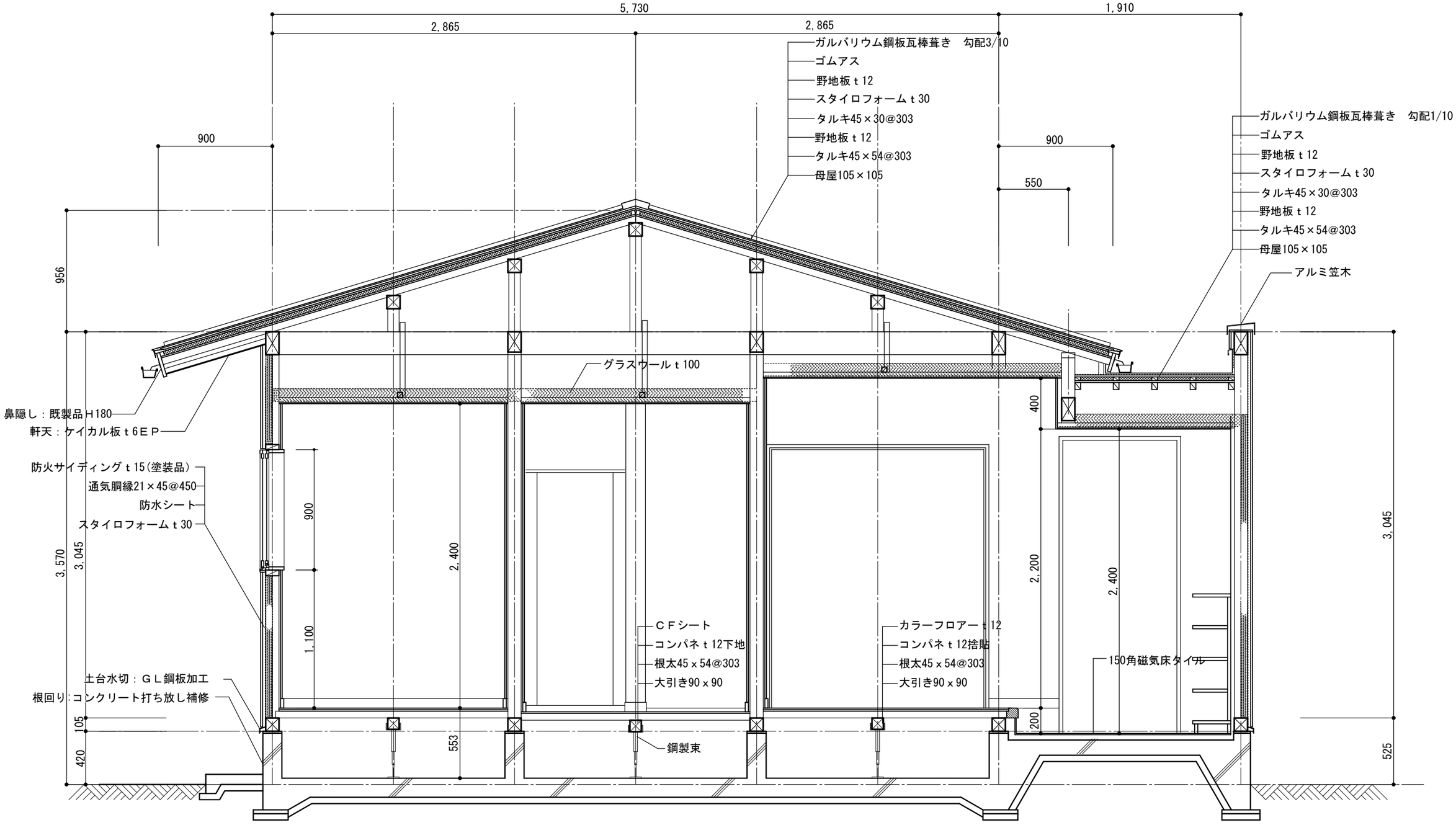
平成　24　年　7　月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名　立　面　図

縮尺　S=1/100

図面No.　A-09



備　考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也　FAX (0898)64-7219
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号

設計No.　１２０３

担当者

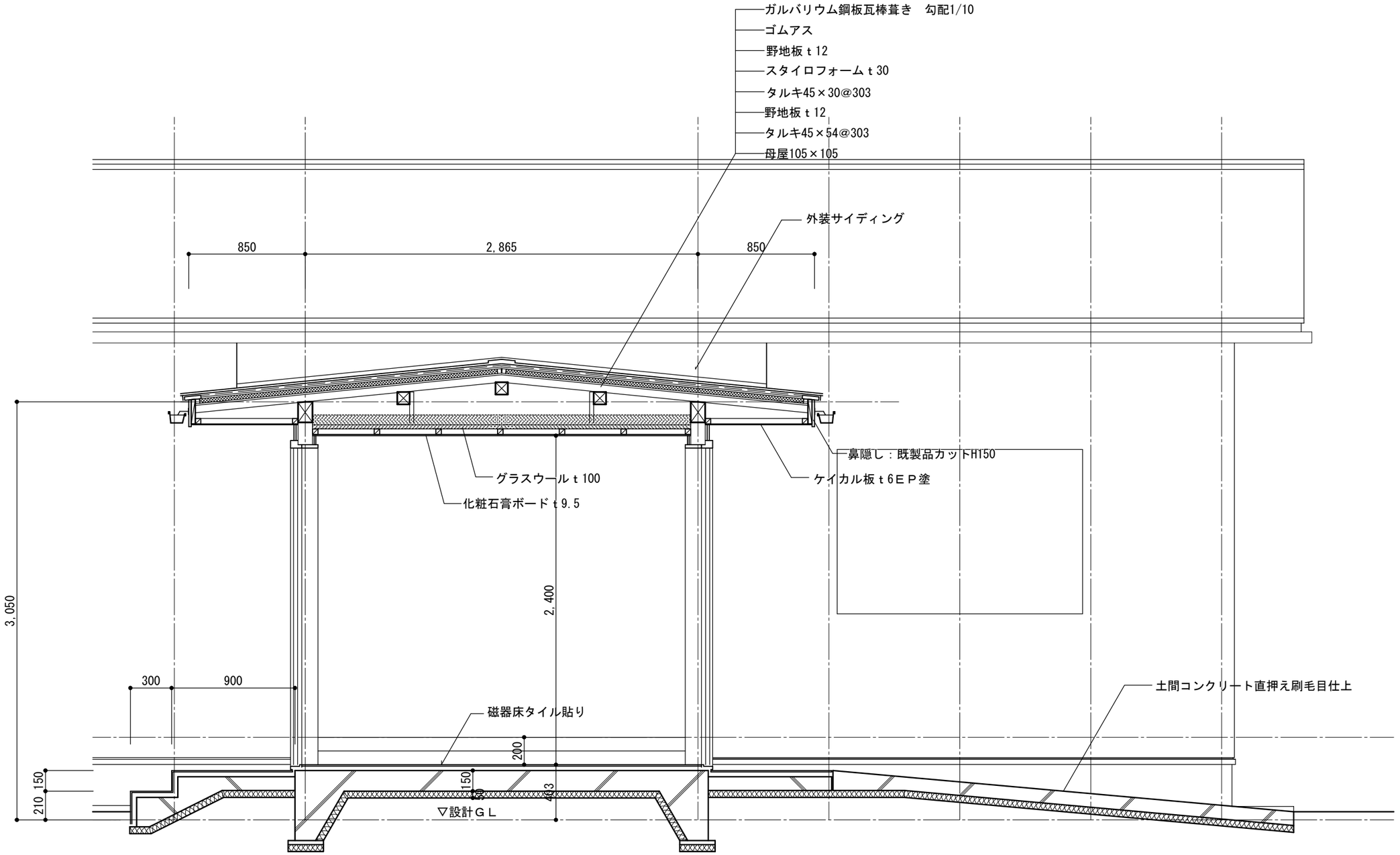
平成　24 年　7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名　矩　計　図

縮尺　S=1/30

図面No.　A-10



備　考

一級建築士事務所
有限会社　一　城　企　画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229
一級建築士大臣登録第203185号　城 戸 一 也　FAX (0898)64-7219
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号

設計No.　１２０３

担当者

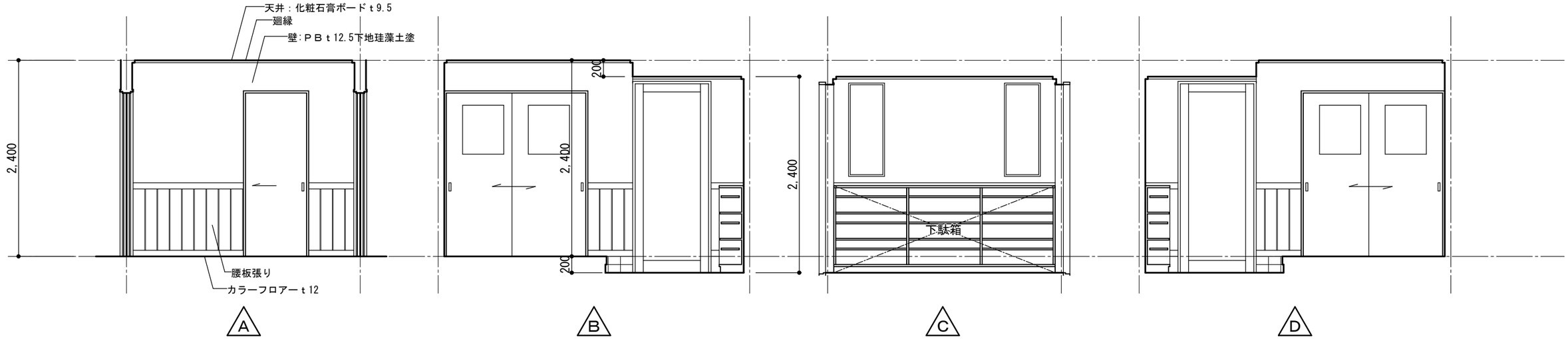
平成　24 年　7 月

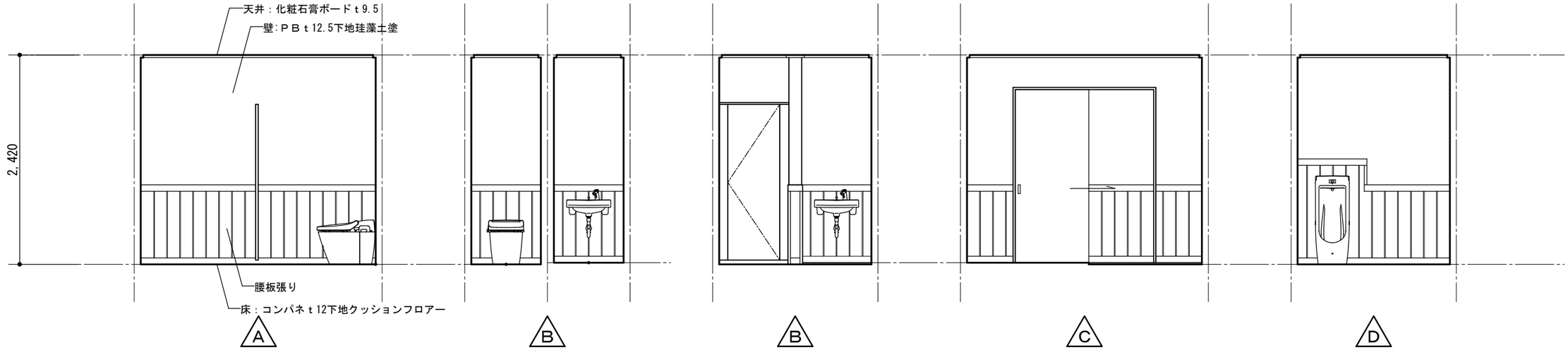
工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

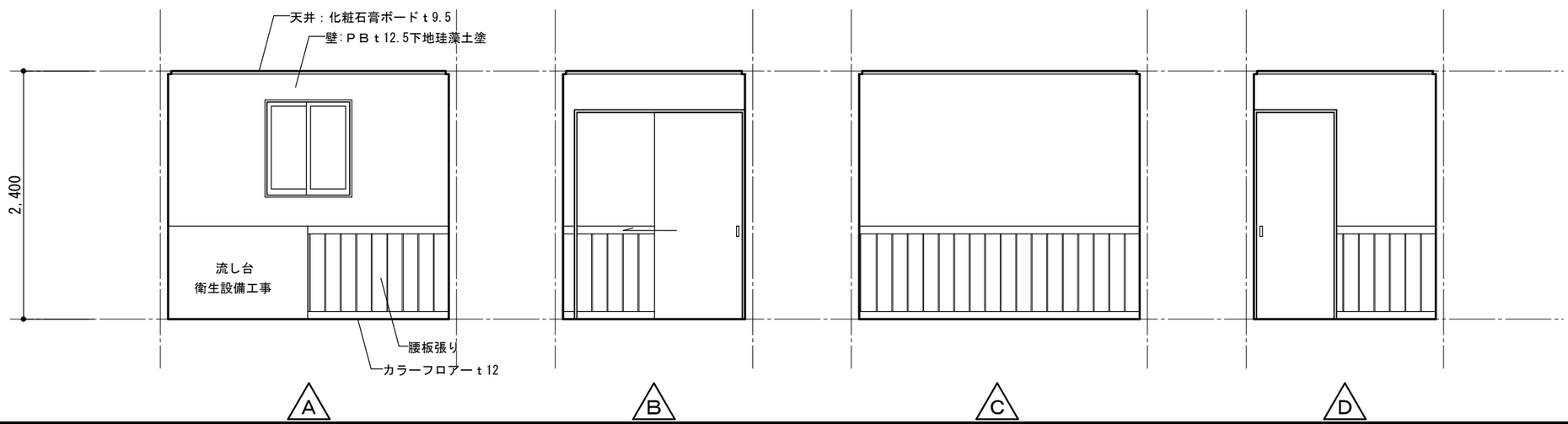
図面名　玄関屋根断面図

縮尺　S=1/30

図面No.　A-11







備　考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也　FAX (0898)64-7219
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号

設計No.　１２０３

担当者

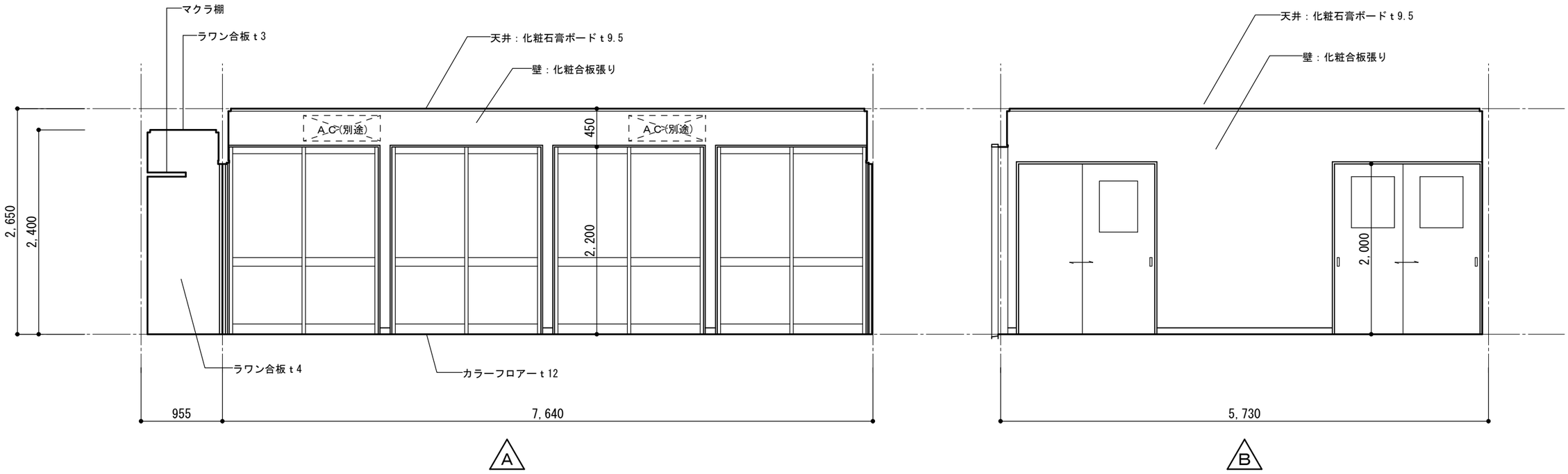
平成　24 年　7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名　展開図No.１（玄関ホール・トイレ・湯沸室）

縮尺　S=1/50

図面No.　A-12



備　考

一級建築士事務所
有限会社　一 城 企 画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城 戸 一 也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No.　１２０３

担当者

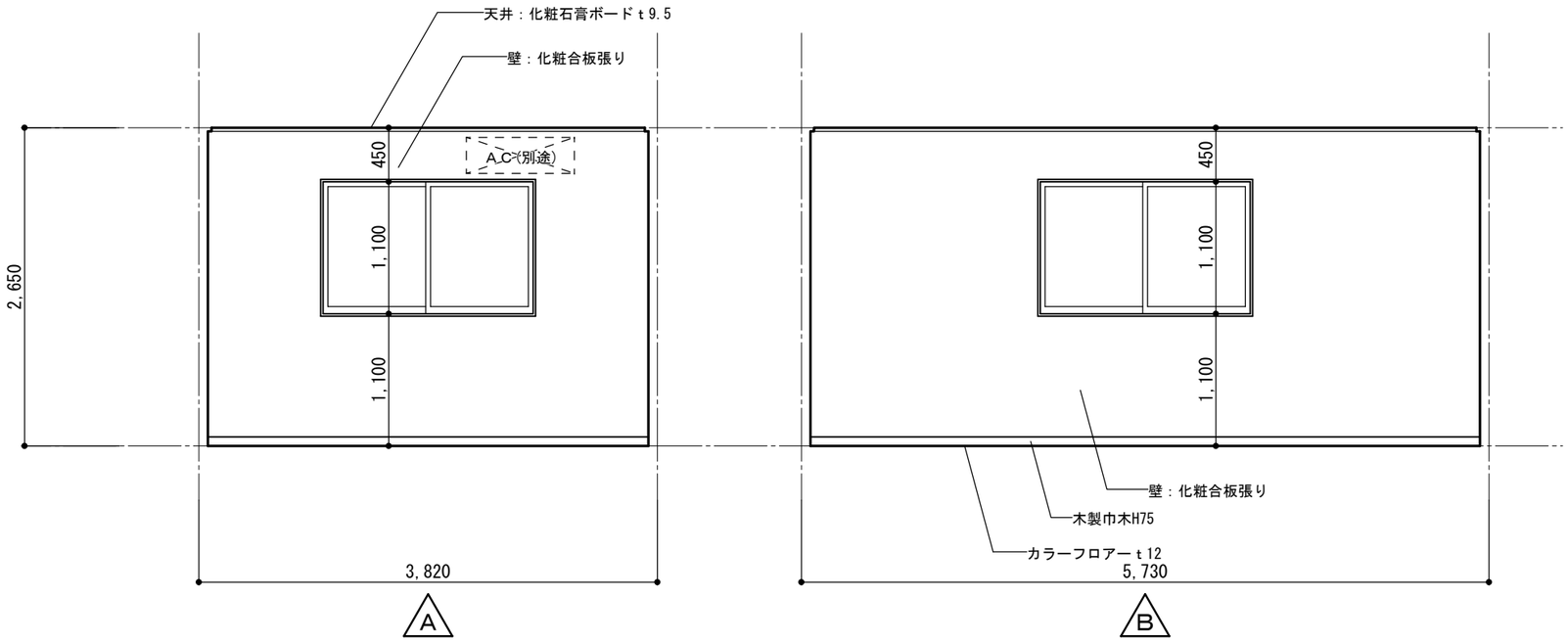
平成　24 年　7 月

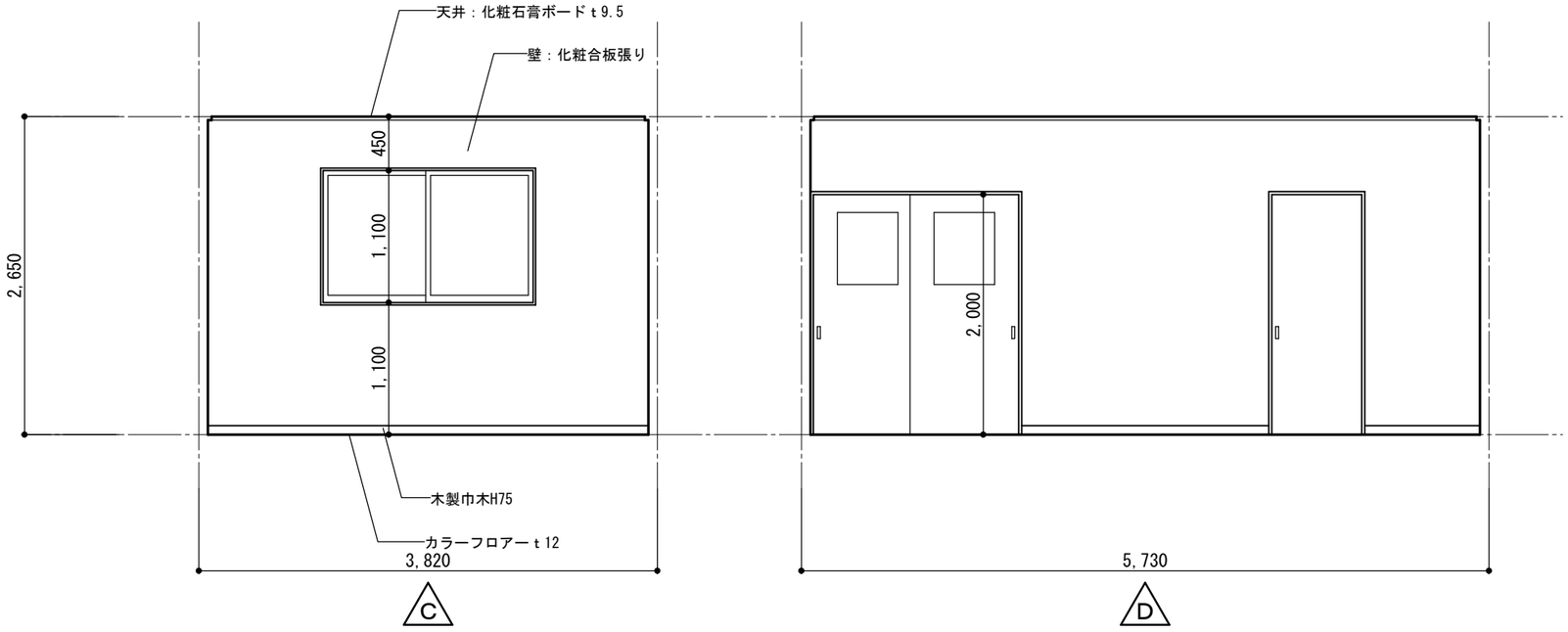
工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名　展開図No.２（多目的室Ａ）

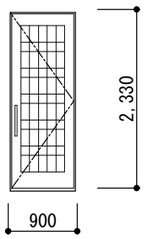
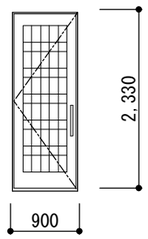
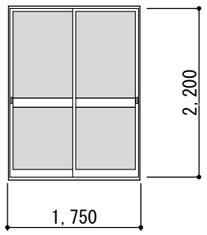
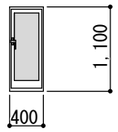
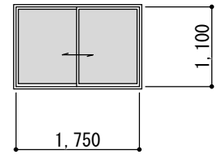
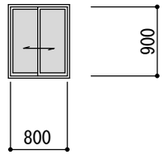
縮尺　S=1/50

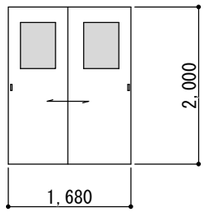
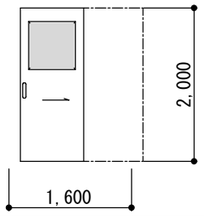
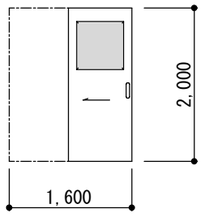
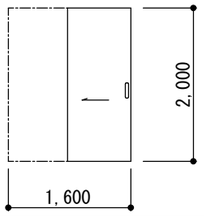
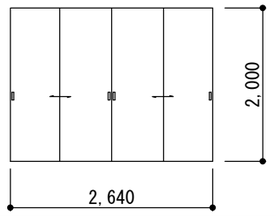
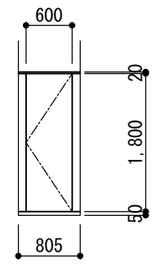
図面No.　A-13





備　考	一級建築士事務所 有限会社　一城企画 〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229 一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也　FAX (0898)64-7219 一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号	設計No.　１２０３ 担当者 平成　24 年　7 月	工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図 図面名　展開図No.３（多目的室Ｂ） 縮尺　S=1/50 図面No.　A-14

記号	① AD 1ヶ所	② AD 1ヶ所	③ AD 6ヶ所		① AW 2ヶ所	② AW ３ヶ所	③ AW １ヶ所
姿図							
部屋名	玄関	玄関	多目的室Ａ		玄関	多目的室Ｂ	湯沸室
型式	片開き	片開き	引き違い		嵌め殺し	2枚引違い	2枚引違い
材質	ｱﾙﾐ製	ｱﾙﾐ製	ｱﾙﾐ製		ｱﾙﾐ製	ｱﾙﾐ製	ｱﾙﾐ製
見込	70	70	70		70	70	70
仕上	ﾌﾞﾗｯｸ	ﾌﾞﾗｯｸ	ﾌﾞﾗｯｸ		ﾌﾞﾗｯｸ	ﾌﾞﾗｯｸ	ﾌﾞﾗｯｸ
ガラス	5MMﾄｰﾒｲ	5MMﾄｰﾒｲ	5MMﾄｰﾒｲ		4MM型	5MMﾄｰﾒｲ	4MM型
金物	握り棒、附属金物一式 シリンダー錠	握り棒、附属金物一式 シリンダー錠	附属金物一式、網戸		附属金物一式	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸
備考	額縁：既製品	額縁：既製品	額縁：既製品		額縁：既製品	額縁：既製品	額縁：既製品

記号	① WD ２ヶ所	② WD 1ヶ所	③ WD １ヶ所	④ WD 1ヶ所	⑤ AD ２ヶ所		① TB 1ヶ所
姿図							
部屋名	ホール	ホール	湯沸室	湯沸室	多目的室Ａ		トイレ
型式	引き違い　上吊戸	片引き　上吊戸	片引き　上吊戸	片引き　上吊戸	４枚引き		トイレブース
材質	木製	木製	木製	木製	木製		木製
見込							
仕上	化粧合板	化粧合板	化粧合板	化粧合板	化粧合板		化粧合板
ガラス	3MMﾄｰﾒｲ	2MM型板	2MM型板				
金物	引き手、振れ止め、上吊金具、レール シリンダー錠　他一式	引き手、振れ止め、上吊金具、レール 他一式	引き手、振れ止め、上吊金具、レール 他一式	引き手、振れ止め、上吊金具、レール シリンダー錠　他一式	引き手、フラッターレール、戸車 他一式		ラバトリーヒンジ、表示錠 取付金物　他一式
備考							

記号							
姿図							
部屋名							
型式							
材質							
見込							
仕上							
ガラス							
金物							
備考							

備考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３

担当者

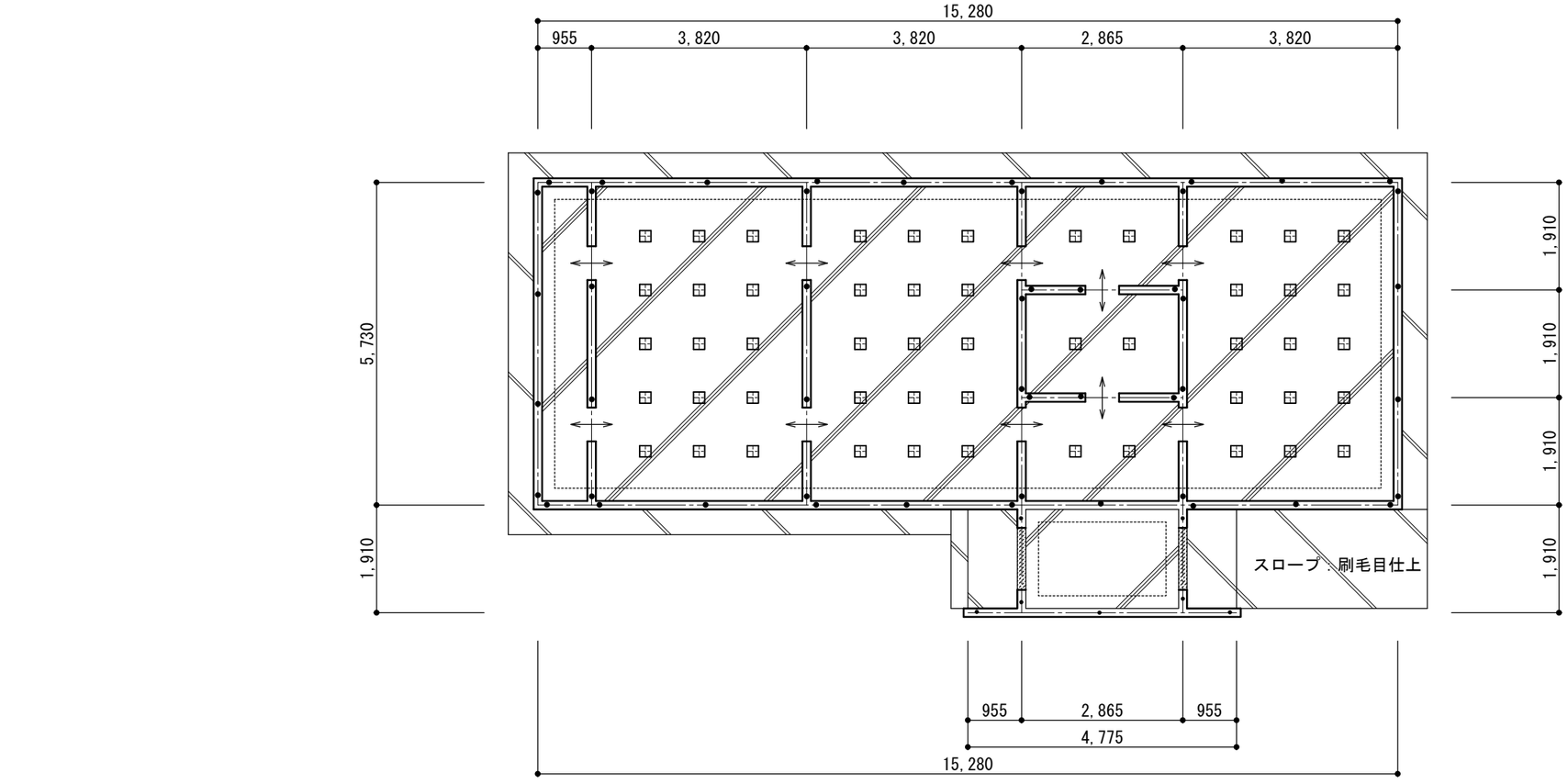
平成　24 年　7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

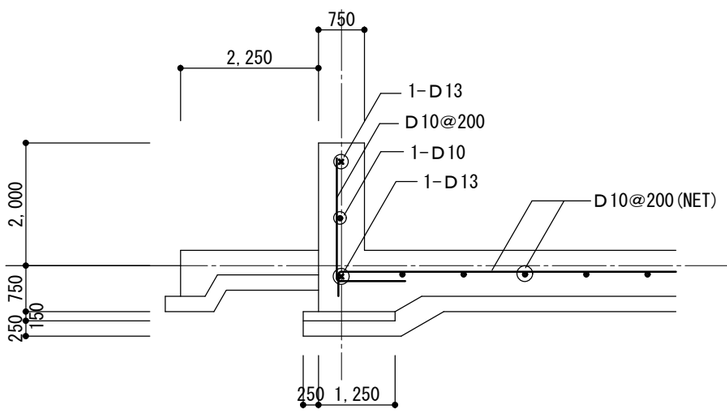
図面名　建具表

縮尺　S=1/80

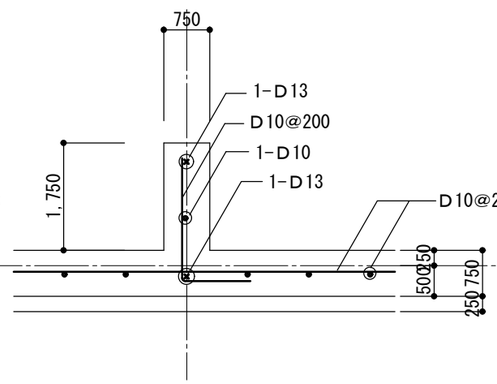
図面No. A-15



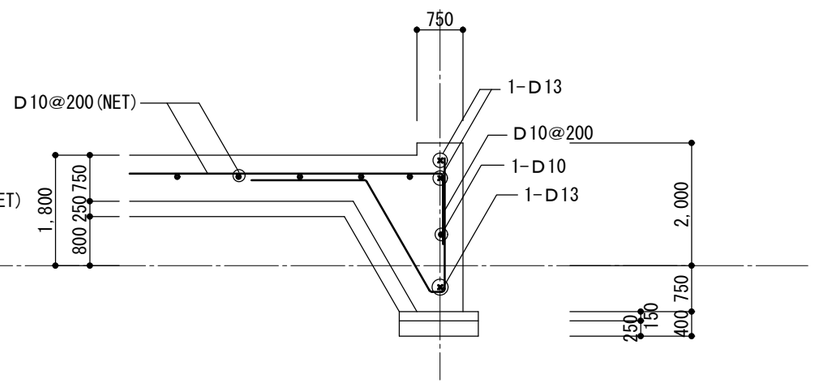
基礎伏図　S=1/100



一般外周部



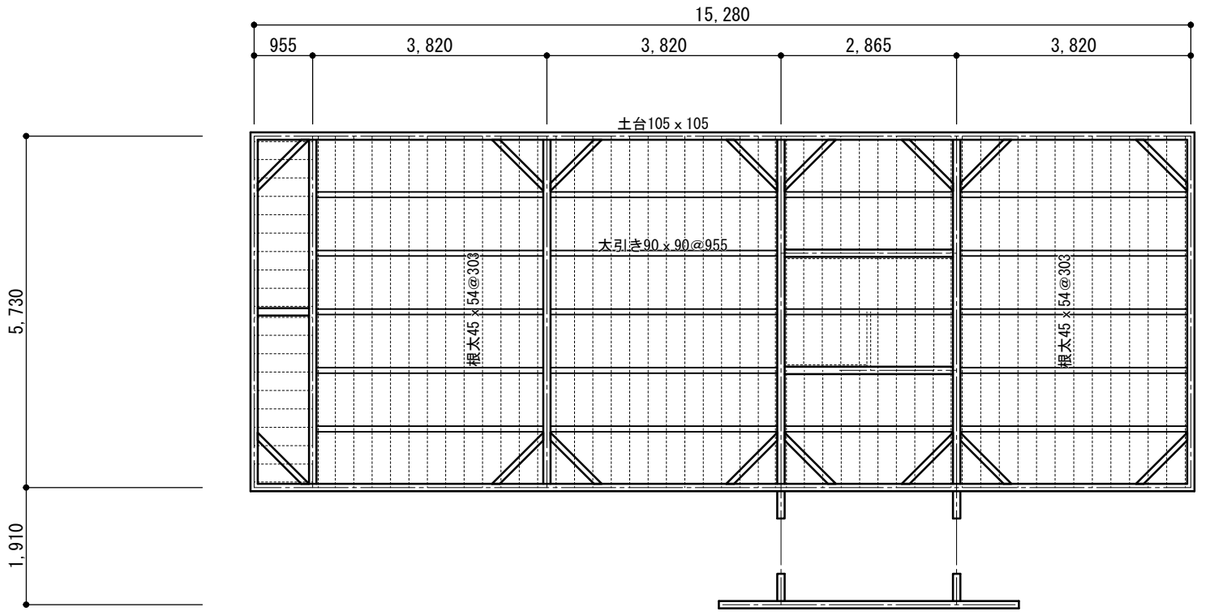
間仕切り部

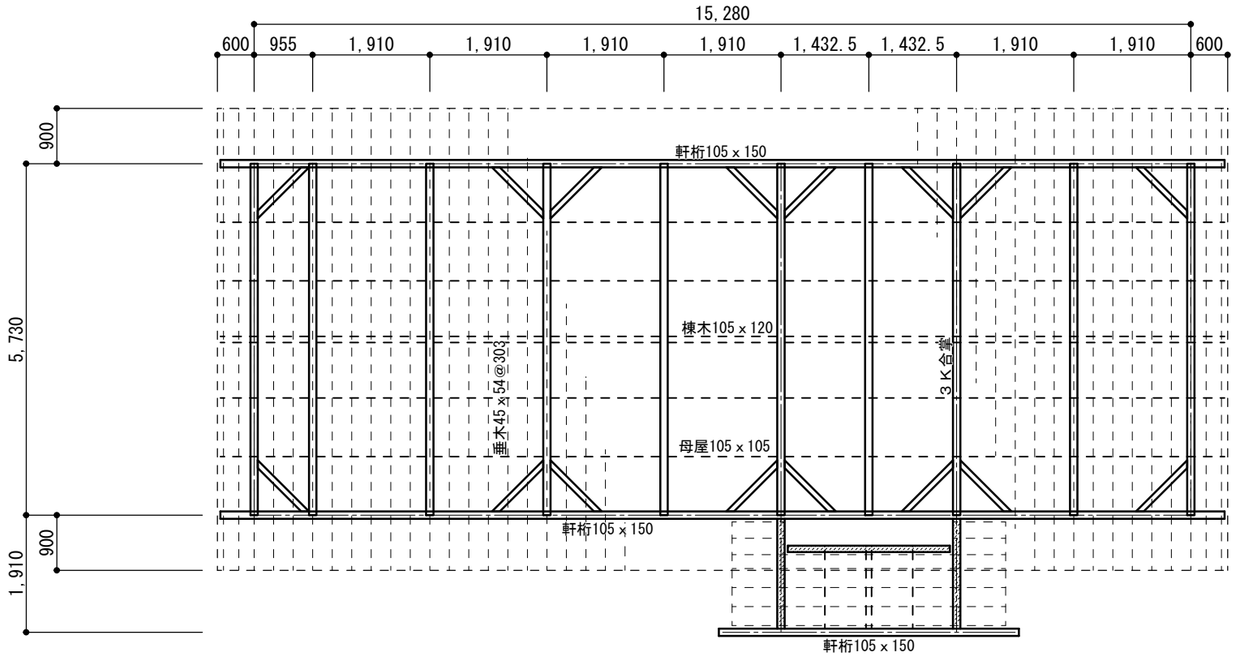


玄関部

基礎断面図　S=1/20

備　考	一級建築士事務所 有限会社　一城企画 〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229 一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也　FAX (0898)64-7219 一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号	設計No.　１２０３ 担当者 平成　24 年　7 月	工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図 図面名　基礎伏図・基礎配筋図　縮尺　S=1/100,20	図面No.　A-16





備　考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３　TEL (0898)64-7229
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也　FAX (0898)64-7219
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号

設計No.　１２０３

担当者

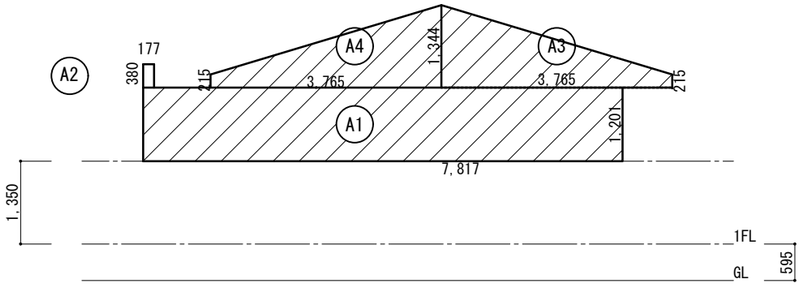
平成　24 年　7 月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

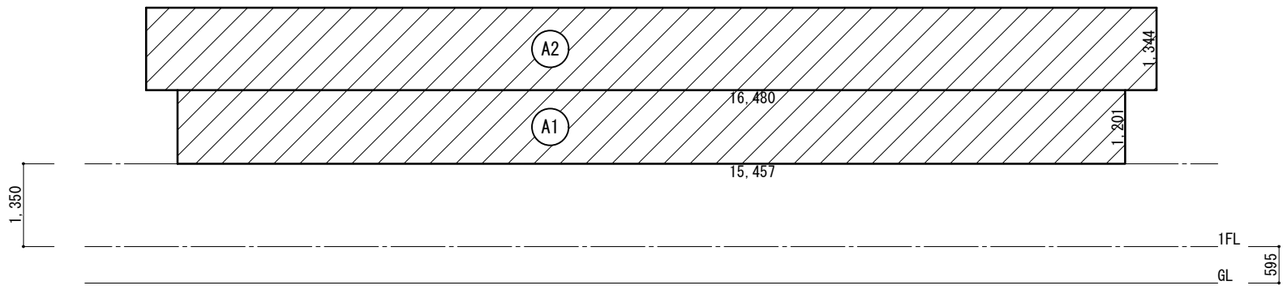
図面名　床伏図・小屋伏図

縮尺　S=1/100

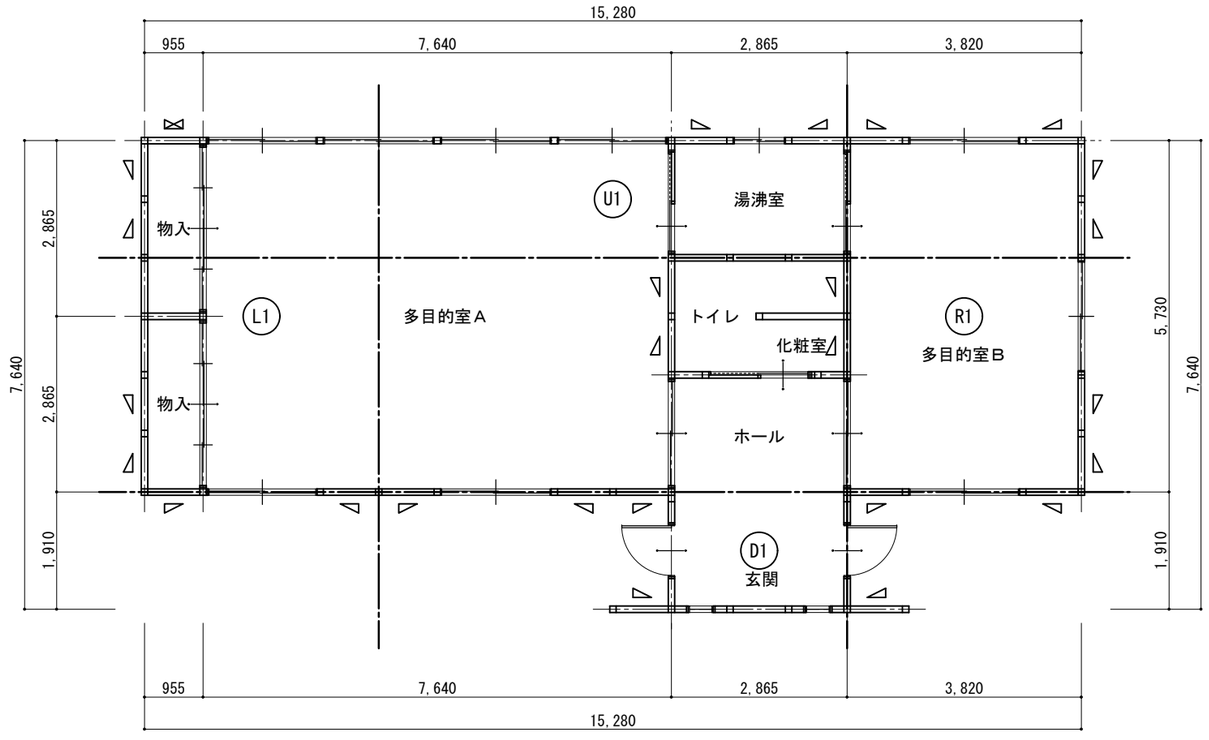
図面No.　A-17



X方向(東面)軸組用見付面積算定図



Y方向(南面)軸組用見付面積算定図



必要軸組長算定表(基準法)

単位 m

床面積(地震力)に対する必要軸組長

階	方向	床面積	乗ずる数値	必要軸組長
1	X	93.03	0.165	15.350
	Y			

見付面積(風圧力)に対する必要軸組長

階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要軸組長
1	X	15.33	0.500	7.665
	Y	40.72		20.360

床面積(地震力)に係る条件
■ 一般区域
□ 特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)
□ 特定行政庁が指定するその他の区域
□ 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
■ 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
□ 準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)
■ 割り増し倍率考慮 (1.500倍)
見付面積(風圧力)に係る条件
□ 特定行政庁が認める強風区域
■ 上記以外の区域

見付面積表

単位 ㎡

方向	階		面積		計	累計
X	1	A1	7.817×1.201	9.388217	15.33	15.33
		A2	0.177×0.380	0.067260		
		A3	(1.344+0.215)×3.765÷2.0	2.934818		
		A4	(1.344+0.215)×3.765÷2.0	2.934818		
Y	1	A1	15.457×1.201	18.563857	40.72	40.72
		A2	16.480×1.344	22.149120		

存在軸組長算定表

単位 m

階	方向	記号	倍率	x 長さ	x 個所	= 軸組長	合計
1	X	W4	4.0	0.955	1	3.820	28.650
		W3	2.0	0.955	13	24.830	
	Y	W3	2.0	0.955	12	22.920	22.920

軸組判定表(基準法)

単位 m

階	方向	存在軸組長	判定	必要軸組長		壁余裕度
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)	
1	X	28.650	> OK	15.350	7.665	1.86
	Y	22.920	> OK	15.350	20.360	1.12

側端部分床面積表(基準法)

単位 ㎡ / 単位 m

階	方向			面積		計	乗ずる数値	必要軸組長
1	X	上	U1	15.280×1.910	29.184800	29.19	0.165	4.817
		下	D1	2.865×1.910	5.472150	5.48	0.165	0.905
	Y	左	L1	3.820×5.730	21.888600	21.89	0.165	3.612
		右	R1	3.820×5.730	21.888600	21.89	0.165	3.612

側端部分存在軸組長算定表(基準法)

単位 m

階	方向		記号	倍率	x 長さ	x 個所	= 軸組長	合計
1	X	上	W4	4.0	0.955	1	3.820	11.460
			W3	2.0	0.955	4	7.640	
		下	W3	2.0	0.955	9	17.190	17.190
	Y	左	W3	2.0	0.955	4	7.640	7.640
		右	W3	2.0	0.955	6	11.460	11.460

壁釣り合い判定表(基準法)

単位 m

階	方向		必要軸組長	存在軸組長	壁量充足率	壁率比	判定
1	X	上	4.817	11.460	2.379	0.125	OK
		下	0.905	17.190	18.994		
	Y	左	3.612	7.640	2.115	0.666	OK
		右	3.612	11.460	3.172		

備 考

一級建築士事務所
有限会社 一城企画
〒799-1353 愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号 城戸一也
一級建築士事務所 愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３

担当者

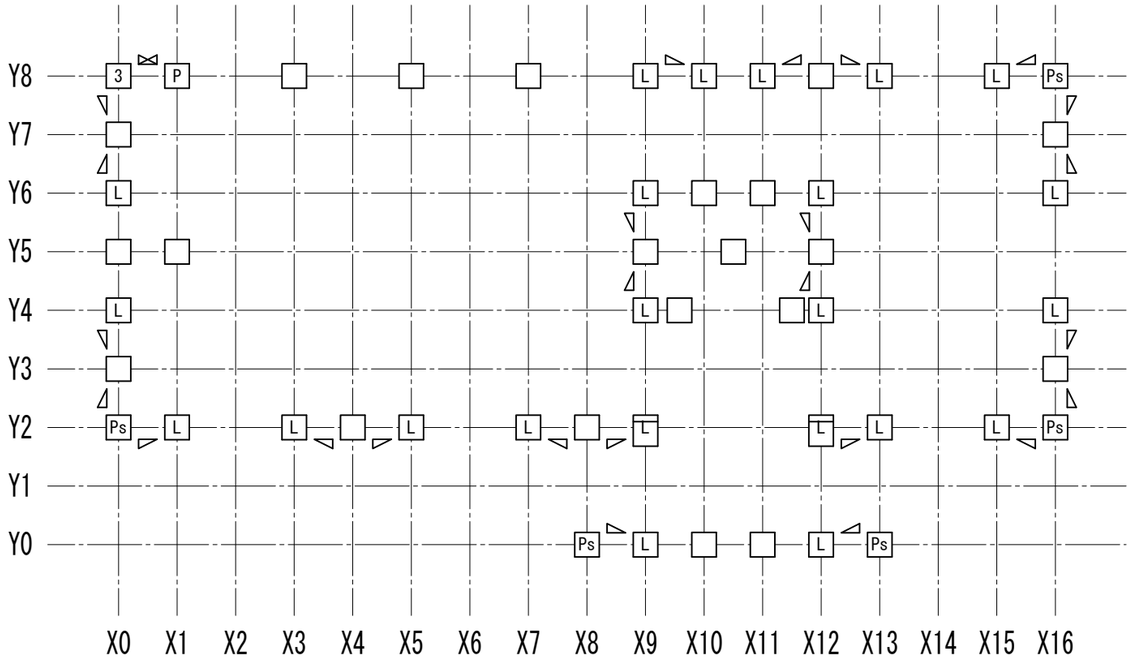
平成 24 年 7 月

工事名 東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名 壁量計算

縮尺 S=1/100

図面No. A-18



１階柱壁伏図

接合部凡例

記号		仕様			N	倍率
(い)		短ほぞ差し又はかすがい打ち			0.00	
(ろ)	N	長ほぞ差し込み栓又はL字型金物	又は		0.65	0.70
(ろ)	L	L字型金物	＝＞	コンパクトコーナー金物同等品 (1.00)		0.70
(は)	V	V字型金物		他（は）該当金物	1.00	1.00
(は)	T	T字型金物				1.00
(に)	P	羽子板ﾎﾞﾙﾄ			1.40	1.40
(に)	I	短冊金物				1.40
(ほ)	Ps	羽子板ﾎﾞﾙﾄ+ｽｸﾘｭｰ釘50	＝＞又は	シナーコーナー金物同等品 (1.80)	1.60	1.60
(ほ)	Is	短冊金物+ｽｸﾘｭｰ釘50		他（へ）該当金物		1.60
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物			1.80	1.80
(と)	3	15KN用引き寄せ金物	＝＞又は	オメガコーナー金物同等品 (2.80)	2.80	2.80
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物	＝＞又は	オメガコーナー＋コンパクトコーナー (3.80)	3.70	3.70
(り)	5	25KN用引き寄せ金物			4.70	4.70
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2			5.60	5.60
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ﾎﾞﾙﾄ、短冊金物				1.90
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ﾎﾞﾙﾄ、短冊金物×2				3.00

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様

筋かいの種類	接合部の仕様（構造方法）
筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトΦ12 及びスクリュー釘Φ4.5L50,7本平打ち、柱及び横架材に 対してスクリュー釘Φ4.5L50,5本平打ち。 筋かいプレートBP-2同等品

柱接合部判定表

柱位置 X	柱位置 Y	出隅柱 階数1又は階数2の2階	計算式 X方向		計算式 Y方向		N	柱頭 仕様	柱頭 判定	柱脚 仕様	柱脚 判定
8	0	○	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	0.0×0.8−0.4	-0.40	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK
9	0	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
10	0	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
11	0	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
12	0	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
13	0	○	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	0.0×0.8−0.4	-0.40	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK
9	1.9	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
12	1.9	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
0	2	○	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK
1	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
3	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
4	2	×	(0.0+1.0)×0.5−0.6	-0.10	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK
5	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
7	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
8	2	×	(0.0+1.0)×0.5−0.6	-0.10	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK
9	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
12	2	×	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
13	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
15	2	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
16	2	○	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK
0	3	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
16	3	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
0	4	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
9	4	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
9.6	4	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
11.5	4	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
12	4	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
16	4	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
0	5	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
1	5	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
9	5	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
10.5	5	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
12	5	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
0	6	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
9	6	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
10	6	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
11	6	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
12	6	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
16	6	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
0	7	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
16	7	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
0	8	○	4.0×0.8−0.4	2.80	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	2.80	3(と)	OK	3(と)	OK
1	8	×	4.0×0.5−0.6	1.40	0.0×0.5−0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK
3	8	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
5	8	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
7	8	×	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK
9	8	×	(2.0+0.5)×0.5−0.6	0.65	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
10	8	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
11	8	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
12	8	×	(0.0+1.0)×0.5−0.6	-0.10	0.0×0.5−0.6	-0.60	-0.10	□(い)	OK	□(い)	OK
13	8	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
15	8	×	(2.0−0.5)×0.5−0.6	0.15	0.0×0.5−0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK
16	8	○	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	(2.0+0.5)×0.8−0.4	1.60	1.60	Ps(ほ)	OK	Ps(ほ)	OK

備　考

一級建築士事務所
有限会社　一城企画
〒799-1353　愛媛県西条市三津屋南２番７３
一級建築士大臣登録第203185号　城戸一也
一級建築士事務所　愛媛県知事登録第2557号
TEL (0898)64-7229
FAX (0898)64-7219

設計No. １２０３

担当者

平成　24　年　7　月

工事名　東予高校５０周年記念会館新築工事設計図

図面名　柱壁伏図・柱接合部判定表

縮尺

図面No. A-19